

PCT/JP01/04879

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

08.06.01

REC'D 27 JUL 2001

WIPO

PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 6月 9日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-174150

出 願 人

Applicant(s):

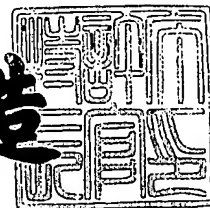
セイコーエプソン株式会社

PRIORITY
DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2001年 6月29日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3061236

【書類名】 特許願

【整理番号】 PA04D528

【提出日】 平成12年 6月 9日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 H04N 9/31

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

 【氏名】 赤岩 昇一

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

 【氏名】 唐澤 徹

【特許出願人】

 【識別番号】 000002369

 【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100096817

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 五十嵐 孝雄

 【電話番号】 052-218-5061

【選任した代理人】

 【識別番号】 100097146

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 下出 隆史

【選任した代理人】

 【識別番号】 100102750

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 市川 浩

特 2000-174150

【選任した代理人】

【識別番号】 100109759

【弁理士】

【氏名又は名称】 加藤 光宏

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 007847

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9502061

【包括委任状番号】 9904030

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 シナリオ作成・再生装置、並びに、その方法および記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルを作成するためのシナリオ作成装置であって、

ポインティングデバイスを含む入力部と、

表示部と、

前記入力部の操作に従って前記シナリオファイルを作成するためのシナリオ作成部と、

を備え、

前記シナリオ作成部は、

前記表示部に、素材ファイルを表示するためのファイル管理領域と、前記ファイル管理領域においてユーザによって選択された素材ファイルの情報である選択素材ファイル情報をユーザによって指定された順序で表示する選択素材ファイル情報領域と、を含むシナリオファイル作成領域を表示させ、前記選択素材ファイル情報領域内の表示内容に応じて、前記シナリオファイルを作成することを特徴とするシナリオ作成装置。

【請求項2】 請求項1記載のシナリオ作成装置であって、

前記シナリオ作成部は、複数の素材ファイルを指定する前記シナリオファイルを作成可能である、シナリオ作成装置。

【請求項3】 請求項2記載のシナリオ作成装置であって、

前記選択素材ファイル情報は、前記ポインティングデバイスの操作により、前記ファイル管理領域に表示される素材ファイルのファイルアイコンが前記選択素材ファイル情報領域内にドラッグ・アンド・ドロップされることにより、前記選択素材ファイル情報領域に表示される、シナリオ作成装置。

【請求項4】 請求項3記載のシナリオ作成装置であって、

前記選択素材ファイル情報は、選択された素材ファイル内のページを指定するページ指定情報を含む、シナリオ作成装置。

【請求項5】 請求項4記載のシナリオ作成装置であって、

前記シナリオ作成領域は、さらに、

前記ファイル管理領域内に表示されるページ毎のシナリオ情報と画像情報とを含む所定形式の素材ファイルについて、ページ毎の前記画像情報をページ毎に縮小画像で表示する縮小画像表示領域を含んでおり、

前記ページ指定情報を含む前記選択素材ファイル情報は、前記ポインティングデバイスの操作により、前記縮小画像表示領域に表示されるページ毎の縮小画像が前記選択素材ファイル情報領域にドラッグ・アンド・ドロップされることにより、前記選択素材ファイル情報領域に表示される、シナリオ作成装置。

【請求項6】 請求項1ないし5のいずれかに記載のシナリオ作成装置であって、さらに、

ネットワークと接続するためのネットワークインタフェース部を備え、

前記シナリオ作成部は、前記ネットワークに接続された他の外部装置内に格納された素材ファイルを選択して、前記シナリオファイルを作成する、シナリオ作成装置。

【請求項7】 請求項1ないし6のいずれかに記載のシナリオ作成装置であって、さらに、

前記シナリオ作成部によって作成された前記シナリオファイルを、シナリオ再生装置に供給するためのシナリオ供給部を備え、

前記シナリオ供給部は、前記シナリオファイルを作成する際に選択された素材ファイルを前記シナリオ再生装置に供給しない、シナリオ作成装置。

【請求項8】 ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルに従って画像を投写表示するプロジェクタであって、

メモリに記憶された前記シナリオファイルに従って、素材ファイルを読み出し、投写表示されるページ毎の画像を表すページ画像データを準備するページ画像処理部と、

前記ページ画像データに応じて画像光を形成する電気光学装置と、

前記電気光学装置で得られた画像光を投写する投写光学系と、
を備え、

前記ページ画像処理部は、複数形式の前記素材ファイルに基づいて前記ページ

画像データを準備することを特徴とするプロジェクタ。

【請求項9】 請求項8記載のプロジェクタであって、さらに、
ネットワークと接続するためのネットワークインタフェース部を備え、
前記ページ画像処理部は、

前記ネットワークインタフェース部を介して、前記ネットワークに接続された
他の外部装置に格納された素材ファイルを、前記シナリオファイルに従って読み
出す、プロジェクタ。

【請求項10】 請求項8または9記載のプロジェクタであって、さらに、
前記メモリに前記シナリオファイルを供給するためのシナリオ供給装置を備え
る、プロジェクタ。

【請求項11】 請求項10記載のプロジェクタであって、
前記シナリオ供給装置は、
ポインティングデバイスを含む入力部と、
表示部と、
準備された前記シナリオファイルを前記メモリに供給するためのシナリオ供給
部と、
を備え、

前記シナリオ供給部は、
前記表示部に、前記シナリオ供給部に処理を実行させるための実行用アイコン
を表示させ、前記ポインティングデバイスの操作により、シナリオファイルのフ
ァイルアイコンが前記実行用アイコンにドラッグ・アンド・ドロップされると、
前記シナリオファイルを前記メモリに供給する、プロジェクタ。

【請求項12】 請求項11記載のプロジェクタであって、
前記シナリオ供給装置は、さらに、
ユーザによる前記ポインティングデバイスの操作を検出し、検出結果に基づい
て操作情報を生成する操作情報生成部を備え、

前記操作情報生成部は、前記シナリオ供給部が前記シナリオファイルを前記メ
モリに供給すると、前記ポインティングデバイスの操作に伴う操作情報を生成す
るための領域である操作情報生成領域を表示させ、前記操作情報生成領域内に、

前記ポインティングデバイスに対応するポインタ画像が表示される場合にのみ、
前記ポインティングデバイスの操作に伴う前記操作情報を生成して前記ページ画
像処理部に供給し、

前記ページ画像処理部は、

供給された前記シナリオファイルに従って前記ページ画像データを準備すると
ともに、前記操作情報に基づいて、前記ページ画像データと装飾画像データとを
合成し、前記ページ画像データによって表されるページ画像内の所定の位置に前
記装飾画像データによって表される装飾画像を重畳する、プロジェクト。

【請求項 1 3】 請求項 1 0 ないし 1 2 のいずれかに記載のプロジェクトで
あって、

前記ページ画像処理部は、

前記メモリ内に前記シナリオファイルが供給されると、自動的に前記シナリオ
ファイルに従った処理を開始する、プロジェクト。

【請求項 1 4】 画像を投写表示するプロジェクトであって、

ページ毎のシナリオ情報と画像情報とを含む素材ファイルを供給するための素
材ファイル供給装置と、

前記素材ファイル供給装置から供給され、メモリに記憶された前記素材ファイ
ルを読み出し、前記シナリオ情報に従って、前記画像情報によって表されるペー
ジ毎の画像を表すページ画像データを準備するページ画像処理部と、

前記ページ画像データに応じて画像光を形成する電気光学装置と、

前記電気光学装置で得られた画像光を投写する投写光学系と、

を備え、

前記素材ファイル供給装置は、

ポインティングデバイスを含む入力部と、

表示部と、

前記素材ファイルを前記メモリに供給するための素材ファイル供給部と、

を備え、

前記素材ファイル供給部は、

前記表示部に、前記素材ファイル供給部に処理を実行させるための実行用アイ

コンを表示させ、前記ポインティングデバイスの操作により、前記素材ファイルのファイルアイコンが前記実行用アイコンにドラッグ・アンド・ドロップされると、前記素材ファイルを前記メモリに供給することを特徴とするプロジェクタ。

【請求項15】 請求項14記載のプロジェクタであって、

前記素材ファイル供給装置は、さらに、

ユーザによる前記ポインティングデバイスの操作を検出し、検出結果に基づいて操作情報を生成する操作情報生成部を備え、

前記操作情報生成部は、前記素材ファイル供給部が前記素材ファイルを前記メモリに供給すると、前記ポインティングデバイスの操作に伴う操作情報を生成するための領域である操作情報生成領域を表示させ、前記操作情報生成領域内に、前記ポインティングデバイスに対応するポインタ画像が表示される場合にのみ、前記ポインティングデバイスの操作に伴う前記操作情報を生成して前記ページ画像処理部に供給し、

前記ページ画像処理部は、

供給された前記素材ファイルを用いて前記ページ画像データを準備するとともに、前記操作情報に基づいて、前記ページ画像データと装飾画像データとを合成し、前記ページ画像データによって表されるページ画像内の所定の位置に前記装飾画像データによって表される装飾画像を重畳する、プロジェクタ。

【請求項16】 請求項14または15記載のプロジェクタであって、

前記ページ画像処理部は、

前記メモリ内に前記素材ファイルが供給されると、自動的に前記素材ファイルの前記シナリオ情報に従った処理を開始する、プロジェクタ。

【請求項17】 ポインティングデバイスを含む入力部と、表示部と、を備えるシナリオ作成装置において、ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルを作成するためのシナリオ作成方法であって、

(a) 前記表示部に、素材ファイルを表示するためのファイル管理領域と、前記ファイル管理領域においてユーザによって選択された素材ファイルの情報である選択素材ファイル情報をユーザによって指定された順序で表示する選択素材ファイル情報領域と、を含むシナリオファイル作成領域を表示させる工程と、

(b) 前記選択素材ファイル情報領域内の表示内容に応じて、前記シナリオファイルを作成する工程と、

を備えることを特徴とするシナリオ作成方法。

【請求項18】 ポインティングデバイスを含む入力部と、表示部と、を備えるシナリオ作成装置において、ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルを作成するためのコンピュータプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記表示部に、素材ファイルを表示するためのファイル管理領域と、前記ファイル管理領域においてユーザによって選択された素材ファイルの情報である選択素材ファイル情報をユーザによって指定された順序で表示する選択素材ファイル情報領域と、を含むシナリオファイル作成領域を表示させる機能と、

前記選択素材ファイル情報領域内の表示内容に応じて、前記シナリオファイルを作成する機能と、

をコンピュータに実現させるためのコンピュータプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオを作成するためのシナリオ作成装置、および、シナリオを再生するシナリオ再生装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

投写型表示装置すなわちプロジェクタは、画像を投写スクリーン上に拡大して表示することができることから、プレゼンテーションに用いられることが多い。プレゼンテーションでは、通常、複数のプレゼンテーションシート（「スライド」とも呼ばれる）が、ページ毎に順次表示される。この処理は、ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルに従って実行される。なお、シナリオファイルやシナリオファイルに従って使用される画像ファイルは、ユーザによって予め準備されて、プロジェクタに供給される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、プロジェクタにおいて、シナリオファイルに従ってページ毎に画像を順次表示させることは困難であった。これは、シナリオファイルを所定のコマンドを使って作成（記述）したり、シナリオファイルに従って表示される画像を表す画像ファイルをプロジェクタに適した形式で準備するのが、比較的難しいからである。

【0004】

この発明は、従来技術における上述の課題を解決するためになされたものであり、プロジェクタなどのシナリオ再生装置において、ページ毎の画像を容易に順次表示させることのできる技術を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段およびその作用・効果】

上述の課題の少なくとも一部を解決するため、本発明のシナリオ作成装置は、ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルを作成するためのシナリオ作成装置であって、

ポインティングデバイスを含む入力部と、

表示部と、

前記入力部の操作に従って前記シナリオファイルを作成するためのシナリオ作成部と、

を備え、

前記シナリオ作成部は、

前記表示部に、素材ファイルを表示するためのファイル管理領域と、前記ファイル管理領域においてユーザによって選択された素材ファイルの情報である選択素材ファイル情報をユーザによって指定された順序で表示する選択素材ファイル情報領域と、を含むシナリオファイル作成領域を表示させ、前記選択素材ファイル情報領域内の表示内容に応じて、前記シナリオファイルを作成することを特徴とする。

【0006】

こうすれば、選択素材ファイル情報を選択素材ファイル情報領域に所望の順序で表示させるだけで、容易にシナリオファイルを作成することができる。このように作成されたシナリオファイルをプロジェクタなどのシナリオ再生装置に供給すれば、ページ毎の画像を容易に順次表示させることが可能となる。

【0007】

上記のシナリオ作成装置において、

前記シナリオ作成部は、複数の素材ファイルを指定する前記シナリオファイルを作成可能であることが好ましい。

【0008】

こうすれば、複数種類のファイル形式の素材ファイルを用いる場合にも、容易にシナリオファイルを作成することができる。

【0009】

また、上記のシナリオ作成装置において、

前記選択素材ファイル情報は、前記ポインティングデバイスの操作により、前記ファイル管理領域に表示される素材ファイルのファイルアイコンが前記選択素材ファイル情報領域内にドラッグ・アンド・ドロップされることにより、前記選択素材ファイル情報領域に表示されることが好ましい。

【0010】

こうすれば、ポインティングデバイスを操作するだけで、容易にシナリオファイルを作成することが可能となる。

【0011】

上記のシナリオ作成装置において、

前記選択素材ファイル情報は、選択された素材ファイル内のページを指定するページ指定情報を含むようにしてもよい。

【0012】

こうすれば、素材ファイルが複数ページの内容を有している場合にも、所望のページのみを用いたシナリオファイルを作成することが可能となる。

【0013】

上記のシナリオ作成装置において、

前記シナリオ作成領域は、さらに、

前記ファイル管理領域内に表示されるページ毎のシナリオ情報と画像情報とを含む所定形式の素材ファイルについて、ページ毎の前記画像情報をページ毎に縮小画像で表示する縮小画像表示領域を含んでおり、

前記ページ指定情報を含む前記選択素材ファイル情報は、前記ポインティングデバイスの操作により、前記縮小画像表示領域に表示されるページ毎の縮小画像が前記選択素材ファイル情報領域にドラッグ・アンド・ドロップされることにより、前記選択素材ファイル情報領域に表示されることが好ましい。

【0014】

このように、縮小画像が表示されれば、ページ毎の画像の内容を容易に確認することができるので、ポインティングデバイスを操作するだけで、容易にシナリオファイルを作成することが可能となる。

【0015】

さらに、上記のシナリオ作成装置において、

ネットワークと接続するためのネットワークインタフェース部を備え、

前記シナリオ作成部は、前記ネットワークに接続された他の外部装置内に格納された素材ファイルを選択して、前記シナリオファイルを作成するようにしてもよい。

【0016】

こうすれば、シナリオ作成装置内に準備されていない素材ファイルを用いて、シナリオファイルを容易に作成することが可能となる。

【0017】

さらに、上記のシナリオ作成装置において、

前記シナリオ作成部によって作成された前記シナリオファイルを、シナリオ再生装置に供給するためのシナリオ供給部を備え、

前記シナリオ供給部は、前記シナリオファイルを作成する際に選択された素材ファイルを前記シナリオ再生装置に供給しないようにしてもよい。

【0018】

こうすれば、シナリオ再生装置内に素材ファイルが格納されないで、シナリ

オ再生装置内のメモリ容量を比較的小さくすることが可能となる。なお、このとき、シナリオ再生装置は、シナリオファイルを実行する際に、他の外部装置内などから素材ファイルを読み出すようにすればよい。

【0019】

本発明の第1のプロジェクトは、ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルに従って画像を投写表示するプロジェクトであって、

メモリに記憶された前記シナリオファイルに従って、素材ファイルを読み出し、投写表示されるページ毎の画像を表すページ画像データを準備するページ画像処理部と、

前記ページ画像データに応じて画像光を形成する電気光学装置と、

前記電気光学装置で得られた画像光を投写する投写光学系と、

を備え、

前記ページ画像処理部は、複数形式の前記素材ファイルに基づいて前記ページ画像データを準備することを特徴とする。

【0020】

このプロジェクトは、複数形式の素材ファイルに基づいてページ画像データを準備することができるページ画像処理部を備えているので、所定形式の画像ファイルを特別に準備する手間を省略することができる。この結果、プロジェクトは、ページ毎の画像を容易に順次表示させることが可能となる。

【0021】

さらに、上記の第1のプロジェクトにおいて、

ネットワークと接続するためのネットワークインタフェース部を備え、

前記ページ画像処理部は、

前記ネットワークインタフェース部を介して、前記ネットワークに接続された他の外部装置に格納された素材ファイルを、前記シナリオファイルに従って読み出すようにしてもよい。

【0022】

こうすれば、プロジェクトは、他の外部装置に格納された素材ファイルを格納する必要がないので、プロジェクト内のメモリ容量を比較的小さくすることが可

能となる。

【0023】

さらに、上記の第1のプロジェクトにおいて、
前記メモリに前記シナリオファイルを供給するためのシナリオ供給装置を備えるようにしてもよい。

【0024】

上記の第1のプロジェクトにおいて、
前記シナリオ供給装置は、
ポインティングデバイスを含む入力部と、
表示部と、
準備された前記シナリオファイルを前記メモリに供給するためのシナリオ供給部と、
を備え、
前記シナリオ供給部は、
前記表示部に、前記シナリオ供給部に処理を実行させるための実行用アイコンを表示させ、前記ポインティングデバイスの操作により、シナリオファイルのファイルアイコンが前記実行用アイコンにドラッグ・アンド・ドロップされると、前記シナリオファイルを前記メモリに供給することが好ましい。

【0025】

このようなシナリオ供給装置を備えれば、ポインティングデバイスを操作するだけで、シナリオファイルを容易にメモリに供給することが可能となる。

【0026】

上記の第1のプロジェクトにおいて、
前記シナリオ供給装置は、さらに、
ユーザによる前記ポインティングデバイスの操作を検出し、検出結果に基づいて操作情報を生成する操作情報生成部を備え、
前記操作情報生成部は、前記シナリオ供給部が前記シナリオファイルを前記メモリに供給すると、前記ポインティングデバイスの操作に伴う操作情報を生成するための領域である操作情報生成領域を表示させ、前記操作情報生成領域内に、

前記ポインティングデバイスに対応するポインタ画像が表示される場合にのみ、
前記ポインティングデバイスの操作に伴う前記操作情報を生成して前記ページ画像処理部に供給し、

前記ページ画像処理部は、

供給された前記シナリオファイルに従って前記ページ画像データを準備するとともに、前記操作情報に基づいて、前記ページ画像データと装飾画像データとを合成し、前記ページ画像データによって表されるページ画像内の所定の位置に前記装飾画像データによって表される装飾画像を重畳するようにしてもよい。

【0027】

こうすれば、ページ画像処理部は、シナリオファイルに従って準備されるページ画像内に、操作情報に基づいて装飾画像を容易に重畳させることが可能となる。

【0028】

上記の第1のプロジェクトにおいて、

前記ページ画像処理部は、

前記メモリ内に前記シナリオファイルが供給されると、自動的に前記シナリオファイルに従った処理を開始するようにしてもよい。

【0029】

本発明の第2のプロジェクトは、画像を投写表示するプロジェクトであって、ページ毎のシナリオ情報と画像情報とを含む素材ファイルを供給するための素材ファイル供給装置と、

前記素材ファイル供給装置から供給され、メモリに記憶された前記素材ファイルを読み出し、前記シナリオ情報に従って、前記画像情報によって表されるページ毎の画像を表すページ画像データを準備するページ画像処理部と、

前記ページ画像データに応じて画像光を形成する電気光学装置と、

前記電気光学装置で得られた画像光を投写する投写光学系と、
を備え、

前記素材ファイル供給装置は、

ポインティングデバイスを含む入力部と、

表示部と、

前記素材ファイルを前記メモリに供給するための素材ファイル供給部と、
を備え、

前記素材ファイル供給部は、

前記表示部に、前記素材ファイル供給部に処理を実行させるための実行用アイコンを表示させ、前記ポインティングデバイスの操作により、前記素材ファイルのファイルアイコンが前記実行用アイコンにドラッグ・アンド・ドロップされると、前記素材ファイルを前記メモリに供給することを特徴とする。

【0030】

このプロジェクトは、所定形式の素材ファイルをそのまま用いて、ページ毎の画像を表すページ画像データを準備することのできるページ画像処理部を備えているので、シナリオファイルを作成する手間を省略することができる。この結果、プロジェクトは、ページ毎の画像を容易に順次表示させることが可能となる。

【0031】

上記の第2のプロジェクトにおいて、

前記素材ファイル供給装置は、さらに、

ユーザによる前記ポインティングデバイスの操作を検出し、検出結果に基づいて操作情報を生成する操作情報生成部を備え、

前記操作情報生成部は、前記素材ファイル供給部が前記素材ファイルを前記メモリに供給すると、前記ポインティングデバイスの操作に伴う操作情報を生成するための領域である操作情報生成領域を表示させ、前記操作情報生成領域内に、前記ポインティングデバイスに対応するポインタ画像が表示される場合にのみ、前記ポインティングデバイスの操作に伴う前記操作情報を生成して前記ページ画像処理部に供給し、

前記ページ画像処理部は、

供給された前記素材ファイルを用いて前記ページ画像データを準備するとともに、前記操作情報に基づいて、前記ページ画像データと装飾画像データとを合成し、前記ページ画像データによって表されるページ画像内の所定の位置に前記装飾画像データによって表される装飾画像を重畳するようにしてもよい。

【 0 0 3 2 】

こうすれば、ページ画像処理部は、素材ファイルを用いて準備されるページ画像内に、操作情報に基づいて装飾画像を容易に重畳させることが可能となる。

【 0 0 3 3 】

上記の第 2 のプロジェクトにおいて、

前記ページ画像処理部は、

前記メモリ内に前記素材ファイルが供給されると、自動的に前記素材ファイルの前記シナリオ情報に従った処理を開始するようにしてもよい。

【 0 0 3 4 】

本発明の方法は、ポインティングデバイスを含む入力部と、表示部と、を備えるシナリオ作成装置において、ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルを作成するためのシナリオ作成方法であって、

(a) 前記表示部に、素材ファイルを表示するためのファイル管理領域と、前記ファイル管理領域においてユーザによって選択された素材ファイルの情報である選択素材ファイル情報をユーザによって指定された順序で表示する選択素材ファイル情報領域と、を含むシナリオファイル作成領域を表示させる工程と、

(b) 前記選択素材ファイル情報領域内の表示内容に応じて、前記シナリオファイルを作成する工程と、

を備えることを特徴とする。

【 0 0 3 5 】

この方法を用いる場合には、本発明のシナリオ作成装置を用いる場合と同様の作用・効果を奏し、選択素材ファイル情報を選択素材ファイル情報領域に所望の順序で表示させるだけで、容易にシナリオファイルを作成することができる。また、このように作成されたシナリオファイルをプロジェクトなどのシナリオ再生装置に供給すれば、ページ毎の画像を容易に順次表示させることが可能となる。

【 0 0 3 6 】

本発明の記録媒体は、ポインティングデバイスを含む入力部と、表示部と、を備えるシナリオ作成装置において、ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルを作成するためのコンピュータプログラムを記録したコンピュータ

読み取り可能な記録媒体であって、

前記表示部に、素材ファイルを表示するためのファイル管理領域と、前記ファイル管理領域においてユーザによって選択された素材ファイルの情報である選択素材ファイル情報をユーザによって指定された順序で表示する選択素材ファイル情報領域と、を含むシナリオファイル作成領域を表示させる機能と、

前記選択素材ファイル情報領域内の表示内容に応じて、前記シナリオファイルを作成する機能と、

をコンピュータに実現させるためのコンピュータプログラムを記録する。

【 0 0 3 7 】

この記録媒体に記録されたコンピュータプログラムをシナリオ作成装置が実行すれば、本発明の方法と同様に、選択素材ファイル情報を選択素材ファイル情報領域に所望の順序で表示させるだけで、容易にシナリオファイルを作成することができる。また、このように作成されたシナリオファイルをプロジェクタなどのシナリオ再生装置に供給すれば、ページ毎の画像を容易に順次表示させることが可能となる。

【 0 0 3 8 】

さらに、本発明は、(1) シナリオ作成装置の機能およびシナリオ再生装置(プロジェクタ)の機能のうちの少なくとも一方を実現するためのコンピュータプログラム、(2) そのコンピュータプログラムを記録した記録媒体、(3) そのコンピュータプログラムを含み搬送波内に具現化されたデータ信号、等の種々の態様で実現することができる。

【 0 0 3 9 】

【発明の実施の形態】 A. 第 1 実施例：

次に、本発明の実施の形態を実施例に基づき説明する。図 1 は、第 1 実施例におけるシナリオ作成・再生システムを示す説明図である。このシナリオ作成・再生システムは、シナリオ作成装置およびシナリオ供給装置としての機能を有するコンピュータ PC 1 と、シナリオ再生装置としての機能を有する投写型表示装置すなわちプロジェクタ PJ 1 とを備えている。コンピュータ PC 1 とプロジェクタ PJ 1 とは、ネットワーク NW を介して互いに接続されている。また、このシ

ナリオ作成・再生システムでは、ネットワークNW上にファイルサーバSBが接続されている。なお、本実施例では、ネットワークNWとしてLANを想定している。

【0040】

なお、本実施例のプロジェクタPJ1は、シナリオファイルに従って、複数形式の素材ファイルを再生可能である。このため、本実施例のコンピュータPC1は、シナリオファイルSFのみを作成してプロジェクタPJ1に供給する。なお、コンピュータPC1内に格納されている素材ファイルMFは、プロジェクタPJ1やファイルサーバSBに供給されて格納される。プロジェクタPJ1は、供給されたシナリオファイルSFに従って、プロジェクタPJ1やファイルサーバSBに格納された素材ファイルMFを読み出し、素材ファイルMFに応じたページ画像ORGをスクリーンSC上に表示させる。

【0041】

なお、本明細書において、「ページ」とは、指定された順序に基づいて、個々に表示されるプレゼンテーションシート（スライド）を意味している。そして、「ページ画像」は、プレゼンテーションシートによって表される画像を意味しており、各ページ画像内には、文字や絵柄などが含まれている。スクリーンSC等に表示されるページ毎の画像は、一つのページ画像の全体を表す全体画像であってもよいし、一つのページ画像の一部を表す部分画像であってもよい。

【0042】

図2は、図1のコンピュータPC1の概略構成を示す説明図である。コンピュータPC1は、CPU300と、外部記憶装置310と、ROM320と、RAM330と、表示部350と、マウスMSやキーボードKBなどの入力部360と、ネットワークインタフェース部390とを備えている。コンピュータPC1は、ネットワークインタフェース部390を介してプロジェクタPJ1と接続されている。

【0043】

RAM330内には、シナリオ作成部332Bの機能を実現するシナリオ作成プログラムが格納されている。シナリオ作成部332Bは、複数形式の複数の素

材ファイルを組み合わせ、シナリオファイルSFを作成する機能を有している。

【0044】

また、シナリオ作成部332Bは、ネットワークインタフェース部390を介して、シナリオファイルSFをプロジェクタPJ1に供給する機能を有している。すなわち、本実施例のシナリオ作成部332Bとネットワークインタフェース部390とは、シナリオファイルSFをプロジェクタPJ1に供給するシナリオ供給部としての機能を有している。さらに、シナリオ作成部332Bは、ネットワークインタフェース部390を介して、素材ファイルMFをプロジェクタPJ1やファイルサーバSBに供給する機能を有している。

【0045】

なお、上記のシナリオ作成部332Bの機能を実現するコンピュータプログラムは、フレキシブルディスクやCD-ROM等の、コンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録された形態で提供される。コンピュータは、その記録媒体からコンピュータプログラムを読み取って内部記憶装置または外部記憶装置に転送する。あるいは、通信経路を介してコンピュータにコンピュータプログラムを供給するようにしてもよい。コンピュータプログラムの機能を実現する時には、内部記憶装置に格納されたコンピュータプログラムがコンピュータのマイクロプロセッサによって実行される。また、記録媒体に記録されたコンピュータプログラムをコンピュータが読み取って直接実行するようにしてもよい。

【0046】

この明細書において、コンピュータとは、ハードウェア装置とオペレーションシステムとを含む概念であり、オペレーションシステムの制御の下で動作するハードウェア装置を意味している。また、オペレーションシステムが不要でアプリケーションプログラム単独でハードウェア装置を動作させるような場合には、そのハードウェア装置自体がコンピュータに相当する。ハードウェア装置は、CPU等のマイクロプロセッサと、記録媒体に記録されたコンピュータプログラムを読み取るための手段とを少なくとも備えている。コンピュータプログラムは、このようなコンピュータに、上述の各手段の機能を実現させるプログラムコードを含んでいる。なお、上述の機能の一部は、アプリケーションプログラムでなく、

オペレーションシステムによって実現されていても良い。

【0047】

なお、この発明における「記録媒体」としては、フレキシブルディスクやCD-ROM、DVD、光磁気ディスク、ICカード、ROMカートリッジ、パンチカード、バーコードなどの符号が印刷された印刷物、コンピュータの内部記憶装置（RAMやROMなどのメモリ）および外部記憶装置等の、コンピュータが読取り可能な種々の媒体を利用できる。

【0048】

図3は、図1のプロジェクタPJ1の概略構成を示す説明図である。プロジェクタPJ1は、CPU100と、外部記憶装置102と、ROMやRAMなどの内部記憶装置104と、アナログ画像信号入力部108と、画像処理部110と、液晶ライトバルブ駆動部120と、液晶ライトバルブ130と、装飾画像処理部140と、メニュー画像処理部150と、リモコン信号処理部160と、メモリカードMCに格納された画像ファイルなどを読み取るためのメモリカード制御部170と、ネットワークインタフェース部190を備えている。液晶ライトバルブ130は、照明光学系200によってほぼ均一に照明されており、液晶ライトバルブ130において形成された画像光は、投写光学系220によってスクリーンSC上に投写される。図3において、光学系200、220の図示は、簡略化されている。

【0049】

アナログ画像信号入力部108は、外部の画像供給装置（図示せず）からアナログ画像信号AV1が供給される場合には、アナログ画像信号AV1をAD変換し、デジタル画像データDV1を出力する機能を有している。なお、アナログ画像信号AV1としては、例えば、パーソナルコンピュータから供給されたコンピュータ画像を表すRGB信号や、ビデオレコーダやテレビジョン受信機から供給された動画を表すコンポジット画像信号などの画像信号が供給される。

【0050】

画像処理部110は、供給される原画像データと装飾画像データとを合成した合成画像データを生成する機能を有している。これにより、原画像データによっ

て表される原画像ORGに、装飾画像データによって表されるポインタ画像PPJなどの装飾画像が重畳された画像をスクリーンSC上に表示させることができる。画像処理部110は、供給された原画像データを図示しないフレームメモリに一旦書き込み、フレームメモリに書き込まれた原画像データを読み出す際に、原画像データと装飾画像データとを合成し、合成された画像データDV2を液晶ライトバルブ駆動部120に供給する。

【0051】

原画像データとしては、アナログ画像信号入力部108から供給される画像データDV1や、内部記憶装置104から供給されるページ毎のページ画像データ、メニュー画像処理部150から供給されるメニュー画像データ、メモリカードMCから読み取られてメモリカード制御部170から供給される画像データなどが用いられる。一方、装飾画像データとしては、装飾画像処理部140から供給される装飾画像データが用いられる。ここで、装飾画像とは、原画像とは独立して準備される画像（付加画像）を意味しており、原画像内に重畳（付加）されることによりスクリーンSC上に表示される。

【0052】

液晶ライトバルブ駆動部120は、画像処理部110から供給された画像データDV2に応じて、画像表示データSDを生成する。液晶ライトバルブ130は、画像表示データSDによって駆動される。このとき、液晶ライトバルブ130は、照明光学系200からの光を変調し、画像を表す画像光を形成する。

【0053】

装飾画像処理部140は、装飾画像を表す装飾画像データを生成して、画像処理部110に供給する機能を有している。具体的には、装飾画像処理部140は、ポインタ画像PPJを表すポインタ画像データや、ポインタ画像PPJを用いて範囲指定することにより所望のサイズで作成される特定形状の画像（例えば、指差し画像）や描画画像（例えば、ボックス画像や囲み枠画像）などの種々の装飾画像データを生成して、画像処理部110に供給する。

【0054】

メニュー画像処理部150は、メニュー画像を表すメニュー画像データを生成

して画像処理部110に供給する機能を有している。ユーザは、メニュー画像に従って、プロジェクタPJ1に関する種々の設定を行うことができる。

【0055】

ネットワークインタフェース部190は、プロジェクタPJ1をLANに接続し、コンピュータPC1からLANを介して供給されるシナリオファイルSFや、シナリオファイルSFで用いられる素材ファイルMFを受け取り、バス100bを介して内部記憶装置104に供給する機能を有している。

【0056】

内部記憶装置104は、供給されたシナリオファイルSFを再生するためのシナリオ再生部105Bと、ネットワークインタフェース部190から供給されたシナリオファイルSFや素材ファイルMFを格納するシナリオ記憶領域107とを備えている。

【0057】

なお、本実施例では、ネットワークインタフェース部190から供給されたシナリオファイルSFや素材ファイルMFは、内部記憶装置104内のシナリオ記憶領域107に格納されているが、外部記憶装置102やメモ리카ード制御部170に装着されたメモ리카ードMCに格納されるようにしてもよい。また、ネットワークインタフェース部190を用いずに、コンピュータPC1において、シナリオファイルSFや画像ファイルPFをメモ리카ードMCに書き込むようにしてもよい。この場合には、メモ리카ードMCをメモ리카ード制御部170に装着して、メモ리카ードMCからシナリオファイルSFや画像ファイルPFを読み出すようにすればよい。

【0058】

シナリオ再生部105Bは、複数種類のアプリケーションプログラムで作成された複数形式の素材ファイルMFを読み出すことができる。すなわち、シナリオ再生部105Bは、複数種類のアプリケーションプログラムで作成された複数形式の素材ファイルMFの内容を見ることができるビューア機能を備えている。シナリオ再生部105Bは、シナリオファイルSFに従って、シナリオ記憶領域107やファイルサーバSBに格納された素材ファイルMFを読み出し、ページ毎

のページ画像データを原画像データとして画像処理部110に供給する。

【0059】

リモコン信号処理部160は、リモコンRMからの制御信号に基づいてプロジェクタPJ1の各部の機能を制御する。例えば、リモコン信号処理部160は、リモコンRMからの制御信号に基づいて、装飾画像処理部140の機能を制御し、原画像ORG内の所望の位置にポインタ画像PPJを重畳させることができる。

【0060】

なお、以上の説明からも分かるように、本実施例におけるCPU100と画像処理部110とシナリオ再生部105Bとが、本発明におけるページ画像処理部に相当する。

【0061】

図4は、図1のシナリオ作成・再生システムにおける一連の処理手順を示すフローチャートである。なお、ステップS201～S205までは、コンピュータPC1の処理を示しており、ステップS206は、プロジェクタPJ1の処理を示している。

【0062】

ステップS201では、コンピュータPC1の表示部350に表示されたシナリオ作成部332Bに処理を実行させるための実行用アイコン（図示せず）をマウスMSでダブルクリックして、シナリオ作成プログラムを起動させる。このとき、コンピュータPC1の外部記憶装置310（図2）に格納されていたプログラムは、RAM330内に展開され、シナリオ作成部332Bとして機能する。

【0063】

ステップS202では、シナリオ作成部332Bが表示部350にシナリオ作成用ウィンドウを表示させる。

【0064】

図5は、表示部350に表示されるシナリオ作成用ウィンドウSMWを示す説明図である。図示するように、シナリオ作成用ウィンドウSMWは、図中左側のファイル管理領域MNAと、右側下方の縮小画像表示領域SPAと、右側上方の

選択素材ファイル情報領域SFAとを含んでいる。

【0065】

ファイル管理領域MNAは、階層構造で管理されたフォルダを示すフォルダ領域A1と、フォルダ領域A1で指定されたフォルダ内のファイルを示すファイル領域A2とを備えている。ユーザは、所望の素材ファイルが格納されたフォルダをフォルダ領域A1で指定し、ファイル領域A2に所望の素材ファイルのファイルアイコンを表示させることができる。

【0066】

なお、ファイル管理領域MNAには、ネットワークNWに接続されたファイルサーバSBなどの他の外部装置内に格納された素材ファイルのファイルアイコンを表示させることも可能である。

【0067】

縮小画像表示領域SPAは、ファイル管理領域MNAで指定された素材ファイルが、ページ毎のシナリオ情報と画像情報とを含む所定形式の素材ファイルである場合に、ページ毎の画像情報をページ毎に縮小画像で表示する領域である。本実施例では、上記の所定形式の素材ファイルとして、PowerPoint (Microsoft 社の商標) を用いて生成されたPPT形式のファイル(以下、「PPTファイル」とも呼ぶ)などを想定している。このように、縮小画像が表示されれば、ページ毎の画像の内容を容易に確認することができる。

【0068】

選択素材ファイル情報領域SFAは、ユーザによって選択された素材ファイルの情報(選択素材ファイル情報)を、ユーザによって指定された順序で表示するための領域である。なお、シナリオ作成部332B(図2)は、この選択素材ファイル情報領域SFA内の表示内容に応じてシナリオファイルを作成する。

【0069】

図4のステップS203では、ユーザが素材ファイルを選択して、選択された素材ファイルの情報(選択素材ファイル情報)を選択素材ファイル情報領域SFA内に表示させる。

【0070】

具体的には、ユーザが、マウスMSを操作することにより、ファイル管理領域MNAに表示される素材ファイルのファイルアイコンを選択し、選択素材ファイル情報領域SFA内にドラッグ・アンド・ドロップする。これにより、選択素材ファイル情報領域SFA内には、ユーザによって選択された素材ファイルに関する選択素材ファイル情報が表示される。

【0071】

あるいは、ユーザが、マウスMSを操作することにより、縮小画像表示領域SPAに表示されるページ毎の縮小画像を選択し、選択素材ファイル情報領域SFA内にドラッグ・アンド・ドロップする。これによっても、選択素材ファイル情報領域SFA内には、ユーザによって選択された素材ファイルに関する選択素材ファイル情報が表示される。

【0072】

ここで、ドラッグ・アンド・ドロップ処理とは、アイコン等にマウスポインタを合わせてドラッグし、そのアイコン等を他のアイコンや領域などに重ね合わせてドロップする処理を意味している。具体的には、ステップS203におけるドラッグ・アンド・ドロップ処理は、次の一連の処理を意味している。すなわち、ファイル管理領域MNAに表示されるファイルアイコンや縮小画像表示領域SPAに表示される縮小画像にマウスポインタを合わせて、マウスMSに設けられたスイッチを押したままマウスMSを移動させることによりファイルアイコンや縮小画像を移動させる（ドラッグ処理）。そして、ファイルアイコンや縮小画像を選択素材ファイル情報領域SFAに重ね合わせて、マウスMSのスイッチを離す（ドロップ処理）。

【0073】

なお、上記の素材ファイルのファイルアイコンや縮小画像の選択は、ネットワークNWに接続されたファイルサーバSBなどの他の外部装置内に格納された素材ファイルについても行うことができる。これにより、他の外部装置内に格納された素材ファイルを選択して、シナリオファイルを作成することが可能となる。

【0074】

また、素材ファイルの選択は、複数形式の素材ファイルについて行うことが可

能である。すなわち、本実施例のシナリオ作成部332Bは、複数形式の素材ファイルを利用してシナリオファイルを作成することができる。

【0075】

ところで、図5の選択素材ファイル情報領域SFAに示すように、各選択素材ファイル情報は、選択された素材ファイルの作成者と、ファイル名と、素材ファイル内のページを指定するページ指定情報と、指定されたページを表す縮小ページ画像とを含んでいる。ページ指定情報は、ユーザが、ファイル管理領域MNAに表示される素材ファイルのファイルアイコンを選択素材ファイル情報領域SFA内にドラッグ・アンド・ドロップする際に設定される。すなわち、ユーザが素材ファイルのファイルアイコンを選択素材ファイル情報領域SFA内にドラッグ・アンド・ドロップすると、シナリオ作成部332Bはダイアログボックス（図示せず）を表示させ、ユーザはダイアログボックス内で所望のページを指定する。一方、ユーザが、縮小画像表示領域SPAに表示されるページ毎の縮小画像を選択素材ファイル情報領域SFA内にドラッグ・アンド・ドロップする際には、上記のダイアログボックスは表示されず、ページ指定情報は選択素材ファイル情報に自動的に含まれることとなる。

【0076】

また、選択素材ファイル情報領域SFA内には、各選択素材ファイル情報がユーザによって指定された順序で表示されている。ユーザは、選択素材ファイル情報領域SFA内の各選択素材ファイル情報の並び順を変更することができる。なお、並び順の変更は、各選択素材ファイル情報が表示される短冊形の情報表示画像IPをドラッグ・アンド・ドロップすることによって実行される。

【0077】

上記のようにして選択素材ファイル情報領域SFAに所望の選択素材ファイル情報が所望の順序で表示されると、ステップS204（図4）においてシナリオファイルが作成される。このとき、シナリオ作成部332Bは、選択素材ファイル情報領域SFA内の表示内容に応じてシナリオファイルを作成する。

【0078】

ステップS205では、作成されたシナリオファイルSFをプロジェクタPJ

1 に供給する。なお、本実施例では、ネットワークNWを介して接続されたプロジェクタPJ1が、シナリオファイルSFの供給先として予め設定されている。具体的には、ユーザが図5のシナリオ作成用ウィンドウSMWにおいて、シナリオファイルSFを供給すべき供給先を設定するための設定画面（図示せず）を表示させて、設定画面において供給先を設定する。シナリオ作成部332Bは、作成されたシナリオファイルSFをネットワークNWを介してプロジェクタPJ1に供給する。

【0079】

また、シナリオ作成部332Bは、シナリオファイルSFで用いられる素材ファイルMFを、ネットワークNWを介してプロジェクタPJ1やファイルサーバSBに供給する。具体的には、シナリオ作成部332Bは、コンピュータPC1の外部記憶装置310などに格納されている素材ファイルMFを用いてシナリオファイルを作成した場合には、コンピュータPC1内に格納されている素材ファイルMFをプロジェクタPJ1やファイルサーバSBに供給する。なお、素材ファイルMFをファイルサーバSBに供給し、プロジェクタPJ1に供給しない場合には、プロジェクタPJ1の外部記憶装置102や内部記憶装置104のメモリ容量を比較的小さくできるという利点がある。また、シナリオ作成部332Bが、ファイルサーバSBに格納されている素材ファイルを用いてシナリオファイルを作成した場合には、ファイルサーバSBに格納されている素材ファイルについては、プロジェクタPJ1に供給されない。

【0080】

ステップS206では、プロジェクタPJ1は、供給されたシナリオファイルに従って処理を実行する。この際、ユーザは、リモコンRMを用いて、プロジェクタPJ1の内部記憶装置104などに格納された複数のシナリオファイルから所望のシナリオファイルを選択するための選択画面を表示させ、所望のシナリオファイルを選択することができる。図6は、プロジェクタPJ1によって表示されるシナリオファイル選択画面SSMを示す説明図である。なお、このシナリオファイル選択画面SSMは、リモコン信号処理部160からの命令に従って、メニュー画像処理部150がシナリオファイル選択画面を表す画像データを生成し

、画像処理部110に供給することによってスクリーンSC上に表示される。ユーザは、シナリオファイル選択画面SSMにおいて、リモコンRMを用いて所望のシナリオファイルを選択する。なお、図6のシナリオファイル選択画面SSMでは、「シナリオファイルB」が選択されている。

【0081】

シナリオファイル選択画面SSMにおいて、シナリオファイルが選択されると、内部記憶装置104内のシナリオ再生部105Bは、シナリオ記憶領域107内の選択されたシナリオファイルSFに従って、素材ファイルMFを読み出し、ページ毎のページ画像データを原画像データとして画像処理部110に供給する。素材ファイルMFは、シナリオファイルSFで指定された記憶領域から読み出される。すなわち、素材ファイルMFがプロジェクタPJ1のシナリオ記憶領域107に格納されている場合には、シナリオ再生部105Bはシナリオ記憶領域107から素材ファイルを読み出す。また、素材ファイルMFがファイルサーバSB内の記憶領域に格納されている場合には、シナリオ再生部105BはファイルサーバSBから素材ファイルを読み出す。これにより、プロジェクタPJ1は、スクリーンSC上に、画像をページ毎に順次投写表示することが可能となる。

【0082】

なお、本実施例では、シナリオファイル選択画面SSM（図6）においてシナリオファイルが選択された後に、シナリオファイルに従った処理が実行されているが、コンピュータPC1からプロジェクタPJ1にシナリオファイルSFが供給されると同時に、シナリオファイルSFに従った処理が自動的に実行されるようにしてもよい。

【0083】

図7は、プロジェクタPJ1に供給されたシナリオファイルの内容の一例を示す説明図である。なお、図7の右方に付された符号「L1」等は、行番号を示す便宜上の符号であり、実際のシナリオファイルには含まれていない。行番号L1の「begin」および行番号L16の「end」は、それぞれシナリオファイルに従った処理の開始および終了を意味するコマンドであり、実際には、行番号L2～L15のコマンドに従って処理が実行される。

【0084】

シナリオファイルSF1の行番号L2, L4, L6, L8, L10, L12, L14に含まれる「Display」コマンドは、それに続く素材ファイルを読み出して、画像を投写表示させるコマンドである。「Display」コマンドには、素材ファイルの格納場所（記憶領域）を示すパス情報とともに、素材ファイル中のページを指定するページ指定情報が含まれている。このため「Display」コマンドが実行されると、所定の記憶領域に記憶された素材ファイル中の該当ページのみが抽出して読み出される。また、図7に示すように、本実施例のシナリオファイルは、複数種類のアプリケーションプログラムで作成された複数形式の素材ファイルが組み合わされて作成されている。

【0085】

例えば、プロジェクタPJ1は、シナリオファイルSF2の行番号L2に含まれる「Display」コマンドに続く「¥mem¥Picture.ppt/page1」に従って、プロジェクタPJ1のシナリオ記憶領域107内に格納された「Picture.ppt」ファイルの1ページ目を抽出して読み出す。さらに、行番号L10に含まれる「Display」コマンドに続く「¥¥SB¥FLDA¥Document.doc/page2」に従って、ファイルサーバ「SB」のフォルダ「FLDA」に格納された「Document.doc」ファイルの2ページ目を抽出して読み出す。また、行番号L12に含まれる「Display」コマンドに続く「¥¥SB¥FLDB¥Graph.xls/sheet3」に従って、ファイルサーバ「SB」のフォルダ「FLDB」に格納された「Graph.xls」ファイルの3シート目（3ページ目）を抽出して読み出す。

【0086】

シナリオファイルSF1の行番号L3, L5, L7に含まれる「Pause」コマンドは、ユーザからの入力があるまで、直前の処理を維持するためのコマンドである。例えば、行番号L2で画像が投写表示されると、ユーザがリモコンRMなどで次の処理への移行を指示するまで、行番号L2で指定された画像が表示される。これにより、ユーザは、投写表示される画像を所望のタイミングでページ毎に切り替えることができる。

【0087】

また、シナリオファイルSF1の行番号L9, L11, L13, L15に含まれる「Wait」コマンドは、直前の処理を指定された時間だけ維持するためのコマンドである。例えば、行番号L8で画像が表示されると、「Wait」コマンドに続く「10000msec」間だけ画像を表示した後に、次の行番号L10の処理へ移行する。これにより、投写表示される画像を自動的にページ送りすることが可能となる。

【0088】

なお、各ページの画像の表示時間は、図5のシナリオ作成用ウィンドウSMWにおいて設定することが可能となっている。具体的には、選択素材ファイル情報領域SFA内の各選択素材ファイル情報が表示された各情報表示画像IPを選択してダイアログボックス（図示せず）を表示させ、ダイアログボックスにおいて画像の表示時間を設定する。

【0089】

このように、プロジェクトPJ1は、ステップS206において、図7に示すようなシナリオファイルSF1に従って、プロジェクトPJ1内の記憶領域やネットワークNWに接続されたファイルサーバなどの記憶領域から複数形式の素材ファイルを読み出し、ページ毎に画像を順次投写表示する。

【0090】

以上説明したように、本実施例のコンピュータPC1は、シナリオ作成部332Bを備えており、シナリオ作成装置として機能する。シナリオ作成部332Bは、表示部350に、素材ファイルを表示するためのファイル管理領域MNAと、ファイル管理領域MNAにおいてユーザによって選択された素材ファイルの情報をユーザによって指定された順序で表示する選択素材ファイル情報領域SFAと、ファイル管理領域MNA内に表示されるページ毎のシナリオ情報と画像情報とを含む所定形式の素材ファイル（PPTファイル）について、ページ毎の前記画像情報をページ毎に縮小画像で表示する縮小画像表示領域SPAと、を含むシナリオ作成用ウィンドウSMWを表示させる。そして、シナリオ作成部332Bは、選択素材ファイル情報領域SFA内の表示内容に応じて、図7に示すようなシナリオファイルSF1を作成する。

【0091】

このようなシナリオ作成装置PC1を用いれば、選択素材ファイル情報を選択素材ファイル情報領域SFAに所望の順序で表示させるだけで、容易にシナリオファイルを作成することができる。このように作成されたシナリオファイルをプロジェクタPJ1などのシナリオ再生装置に供給すれば、ページ毎の画像を容易に順次表示させることが可能となる。

【0092】

また、本実施例のプロジェクタPJ1は、シナリオ記憶領域107に記憶されたシナリオファイルに従って、素材ファイルを読み出し、投写表示されるページ毎の画像を表すページ画像データを準備するページ画像処理部を備えている。このページ画像処理部は、複数の前記素材ファイルに基づいて前記ページ画像データを準備することができる。このようなプロジェクタPJ1をシナリオ再生装置として用いれば、プロジェクタは、ページ毎の画像を容易に順次表示させることが可能となる。

【0093】

なお、本明細書において、「プロジェクタ」の語は、プロジェクタPJ1のみを含む狭義のプロジェクタを意味するとともに、場合により、プロジェクタPJ1とコンピュータPC1とを含む広義のプロジェクタを意味する。すなわち、第1実施例においては、シナリオ再生装置としてのプロジェクタPJ1とシナリオ供給装置としてのコンピュータPC1とを備えるシナリオ再生システムも、本発明における第1のプロジェクタに相当する。

【0094】

B. 第2実施例：

図8は、第2実施例におけるシナリオ再生システムを示す説明図である。このシナリオ再生システムは、素材ファイル供給装置としての機能を有するコンピュータPC2と、シナリオ再生装置としての機能を有する投写型表示装置すなわちプロジェクタ（）PJ2とを備えている。コンピュータPC2とプロジェクタPJ2とは、ネットワークNWを介して互いに接続されている。

【0095】

なお、本実施例のプロジェクタPJ2は、ページ毎のシナリオ情報と画像情報とを含む所定形式の素材ファイルをそのまま利用して、ページ毎に画像を再生することができる。このため、本実施例のコンピュータPC2は、所定形式の素材ファイルMFをそのままプロジェクタPJ2に供給する。プロジェクタPJ2は、供給された素材ファイルMFに含まれるシナリオ情報に従って、素材ファイルMFに含まれる画像情報を読み出し、素材ファイルMFに応じたページ画像ORGをスクリーンSC上に表示させる。

【0096】

また、コンピュータPC2は、図8に示すように、ポインティングデバイスとしてマウスMSを備えている。後述するように、コンピュータPC2は、マウスMSの操作に伴う操作情報OPSを生成し、ネットワークNWを介してプロジェクタPJ2に供給する。プロジェクタPJ2は、操作情報OPSに基づいて、例えば、スクリーンSC上に表示されたページ画像ORG内にポインタ画像PPJを表示させることができる。なお、図8において、コンピュータPC2は、プロジェクタPJ2に対して、操作情報OPSを供給しており、ポインタ画像PPJを表す画像データは供給していない。

【0097】

図9は、図8のコンピュータPC2の概略構成を示す説明図である。このコンピュータPC2は、図2のコンピュータPC1とほぼ同様の構成を有しているが、RAM330内には、素材ファイル供給部336の機能を実現する素材ファイル供給プログラムと、操作情報生成部338の機能を実現する操作情報生成プログラムとが格納されている。

【0098】

素材ファイル供給部336は、準備された所定形式の素材ファイル（例えば、PPTファイル）をネットワークインタフェース部390を介してそのままプロジェクタPJ2に供給する機能を有している。

【0099】

操作情報生成部338は、ユーザによる入力部360の操作を検出し、検出結果に基づいて操作情報OPSを生成する機能を有している。なお、生成された操

作情報OPSは、ネットワークインタフェース部390を介してプロジェクタPJ2に供給される。

【0100】

図10は、図8のプロジェクタPJ2の概略構成を示す説明図である。このプロジェクタPJ2は、図3のプロジェクタPJ1とほぼ同様の構成を有しているので、詳細な説明は省略する。

【0101】

ただし、ネットワークインタフェース部190は、コンピュータPC2からLANを介して供給される素材ファイルMFを内部記憶装置104のシナリオ記憶領域107に供給する機能を有している。また、ネットワークインタフェース部190は、コンピュータPC2からLANを介して供給される操作情報OPSを、バス100bを介してCPU100に供給する機能を有している。CPU100は、操作情報OPSに基づいて、画像処理部110や装飾画像処理部140、メニュー画像処理部150などを制御する。例えば、操作情報OPSに、原画像（ページ画像）ORG内に重畳されるポインタ画像PPJの位置を表す位置情報が含まれている場合には、装飾画像処理部140は、ポインタ画像データを操作情報（位置情報）OPSに基づいて画像処理部110に供給する。これにより、画像処理部110は、原画像データ（ページ画像データ）とポインタ画像データとを操作情報（位置情報）OPSに基づいて合成することができ、この結果、原画像（ページ画像）ORGの所定の位置にポインタ画像PPJが重畳されることとなる。

【0102】

また、内部記憶装置104は、供給された素材ファイル（PPTファイル）MFを再生するためのシナリオ再生部105Cと、ネットワークインタフェース部190から供給された素材ファイルMFを格納するシナリオ記憶領域107とを備えている。シナリオ再生部105Cは、所定形式の素材ファイルMFの内容を見ることができるビューア機能を備えている。すなわち、シナリオ再生部105Cは、供給された素材ファイルMFに含まれるシナリオ情報に従って、素材ファイルMFに含まれる画像情報を読み出し、ページ毎のページ画像データを原画像

データとして画像処理部110に供給する。

【0103】

なお、本実施例におけるCPU100と画像処理部110と装飾画像処理部140とシナリオ再生部105Cとが、本発明におけるページ画像処理部に相当する。

【0104】

図11は、図8のシナリオ再生システムにおける一連の処理手順を示すフローチャートである。

【0105】

ステップS301では、コンピュータPC2の表示部350（図9）に素材ファイル供給部336に処理を実行させるための実行用アイコンが表示されている。図12は、表示部350に表示されるデスクトップ画面を示す説明図である。図示するように、デスクトップ画面には、素材ファイル供給部336に処理を実行させるための実行用アイコンEIが含まれている。

【0106】

ステップS302では、ユーザは、入力部360のマウスMS（図2）を操作して、図12に示すように、所定形式の素材ファイルのファイルアイコンFIを実行用アイコンEIにドラッグ・アンド・ドロップする。ここで、所定形式の素材ファイルとは、ページ毎のシナリオ情報と画像情報とを含む素材ファイルを意味しており、本実施例では、PowerPoint（Microsoft社の商標）を用いて生成されたPPTファイルなどを想定している。また、ドラッグ・アンド・ドロップ処理とは、前述のように、素材ファイルのファイルアイコンFIにマウスポインタPPCを合わせてドラッグし、実行用アイコンEIに重ね合わせてドロップする処理を意味している。

【0107】

ステップS303では、ステップS302のドラッグ・アンド・ドロップ処理により、素材ファイル供給プログラムが起動する。このとき、コンピュータPC1の外部記憶装置310（図9）に格納されていたプログラムは、RAM330内に展開され、素材ファイル供給部336として機能する。

【0108】

ステップS304では、素材ファイル供給部336は、素材ファイルを供給すべき供給先を設定するためのダイアログボックス（図示せず）を表示部350に表示させる。本実施例では、ユーザは、ネットワークインタフェース部390を介して接続されたプロジェクタPJ2（図9）を、素材ファイルの供給先として設定する。なお、このとき、供給先として設定されたプロジェクタPJ2に適した解像度（例えば、XGAなど）も設定され、設定された解像度は操作情報生成部338の処理に利用される。

【0109】

ステップS305では、素材ファイル供給部336は、素材ファイルをそのままプロジェクタPJ2に供給する。具体的には、素材ファイル供給部336は、ネットワークインタフェース部390を介して素材ファイルをプロジェクタPJ2の内部記憶装置104内のシナリオ記憶領域107に供給する。なお、第1実施例と同様に、素材ファイルは、外部記憶装置102やメモ리카ード制御部170に装着されたメモ리카ードMCなどに格納されてもよい。

【0110】

ステップT301では、プロジェクタPJ2は、素材ファイルが供給されると同時に、素材ファイルのシナリオ情報に従った処理を自動的に開始する。具体的には、プロジェクタPJ2の内部記憶装置104内のシナリオ再生部105Cは、シナリオ記憶領域107に格納された所定形式の素材ファイル（PPTファイル）に含まれるページ毎のシナリオ情報に基づいて、画像情報を読み出し、ページ毎のページ画像データを原画像データとして画像処理部110に供給する。このようにして、プロジェクタPJ2において、シナリオ情報に従って順次画像が投写表示される。

【0111】

素材ファイル供給部336が、素材ファイルをプロジェクタPJ2に供給すると、ステップS306において、操作情報生成プログラムが起動する。このとき、操作情報生成部338は、表示部350上に操作情報生成領域を含む操作検出用ウィンドウを表示させる。

【0112】

図13は、コンピュータPC2の表示部350に表示される操作検出用ウィンドウDWを示す説明図である。図13に示す表示部350では、操作検出用ウィンドウDWと、プレゼンテーションにおいて発表する内容などを記したメモを表示するメモ表示ウィンドウMWとが表示されている。

【0113】

操作検出用ウィンドウDWは、図示するように、「メニュー」ボタンBMと操作情報生成領域GAとを含んでいる。ここで、操作情報生成領域GAとは、マウスMSの操作に伴う操作情報OPSを生成するための領域を意味している。図13において、マウスMSに対応するポインタ画像PPCは、表示部350の全領域内において表示されるが、ポインタ画像PPCが操作情報生成領域GA内に表示される場合にのみ、マウスMSの操作に伴う操作情報OPSが生成される。このようにすれば、ユーザが、操作情報生成領域GA以外の領域においてポインタ画像PPCを表示させてマウスMSを操作する場合には、マウスMSの操作情報OPSが生成されないで、マウスMSを用いて他の操作、例えば、メモ表示ウィンドウMWに表示させるメモを変更するなどの操作を行うことが可能となる。

【0114】

ステップS307では、操作情報生成部338は、入力部360としてのマウスMSの操作を検出する。なお、マウスMSの操作とは、ユーザがマウスMS自体を移動させる操作や、マウスMSに設けられたスイッチを押す操作などを意味している。そして、ステップS308では、操作情報生成部338は、ステップS307における検出結果に基づいて操作情報OPSを生成する。

【0115】

前述のように、本実施例の操作情報生成部338は、マウスMSに対応するポインタ画像PPCが操作検出用ウィンドウDWの操作情報生成領域GA内に表示される場合にのみ、マウスMSの操作を検出する。また、本実施例では、ステップS304において、素材ファイルの供給先としてプロジェクタPJ2が設定されるとともに、プロジェクタPJ2に適した解像度が設定されているので、操作情報生成領域GAと、スクリーンSC上に投写表示される原画像（ページ画像）

ORGの画像領域とを対応付けることができる。すなわち、操作情報生成領域GA内におけるポインタ画像PPCの位置関係と、原画像（ページ画像）ORG内におけるポインタ画像PPJの位置関係とをほぼ一致させることができる。具体的には、操作情報生成部338は、操作情報生成領域GA内においてポインタ画像PPCが表示される位置を、設定されたプロジェクタPJ2の解像度（ステップS304）に応じて、座標値で求める。仮に、プロジェクタPJ2の解像度がXGA（1024×768）に設定されているときに、ポインタ画像PPCが操作情報生成領域GAの左上端に表示されている場合には座標値を（1，1）とし、中央に表示されている場合には座標値を（512，384）とし、右下端に表示されている場合には座標値を（1024，768）として求める。この座標値情報が、マウスMSの位置情報となり、操作情報OPSとして出力される。

【0116】

ステップS309では、コンピュータPC2は、操作情報OPSを送信する。

【0117】

プロジェクタPJ2は、ステップT302において、操作情報OPSに基づいて、画像を表示する。具体的には、操作情報OPSに基づいて、原画像（ページ画像）ORG内の所定の位置（すなわち、操作情報生成領域GA内におけるポインタ画像PPCの位置に対応する位置）にポインタ画像PPJを表示する。

【0118】

ステップS307～S309，T302の処理を繰り返し実行することにより、マウスMSの移動と連動させて、スクリーンSC上に投写表示される原画像（ページ画像）ORG内のポインタ画像PPJを移動させることができる。

【0119】

ステップT303では、プロジェクタPJ2内のシナリオ再生部105Cは、供給された所定形式の素材ファイル（PPTファイル）に含まれるページ毎のシナリオ情報に従った処理を終了する。

【0120】

ステップS310では、コンピュータPC2は、プロジェクタPJ2から供給される終了情報に従って、操作情報生成プログラムを終了させる。

【0121】

ところで、ステップS307において、ユーザがマウスMSに設けられたスイッチを押す（クリックする）操作を実行する場合には、ステップT301において、プロジェクタPJ2がシナリオ情報に従って画像を投写表示する際に、画像を順次ページ送りさせることができる。

【0122】

また、ステップS307において、ユーザがマウスMSに設けられたスイッチを押しながらマウスMSを移動させる操作を実行する場合には、投写表示されるページ画像ORG内において領域を指定することができる。本実施例のプロジェクタPJ2では、領域を指定することにより、ボックス画像や囲み枠画像などのポインタ画像と異なる種類の装飾画像を、ページ画像ORG内の指定領域に重畳することが可能となっている。

【0123】

上記の説明からも分かるように、ステップS307においては、マウスMSの位置情報のみでなく、マウスMSのスイッチ情報も操作情報OPSとして生成される。

【0124】

図14は、ページ画像ORG内のポインタ画像PPJを用いて、ページ画像ORG内にボックス画像PBを重畳する際の処理を示す説明図である。ボックス画像PBのサイズは、ページ画像ORG内において、ボックス画像PBの対向する2つの頂点（始点および終点）を指定することによって決定される。図14（A-1）～（A-3）は、操作検出用ウィンドウDW（図13）に含まれる操作情報生成領域GAを示している。図14（B-1）～（B-3）は、プロジェクタPJ2によってスクリーンSC上に表示されるページ画像ORGを示している。

【0125】

図14（A-1）では、コンピュータPC2のマウスMSを操作して、領域を指定するための始点P1Cを指定する。これは、ユーザがマウスMSを移動させることにより、ポインタ画像PPCを始点P1Cに移動させ、マウスMSのスイッチを押すことによって行われる。このとき、図14（B-1）に示すように、

ページ画像ORG内では、ポインタ画像PPJによって始点P1Jが指定される。ページ画像ORGにおいて始点P1Jが指定されると、ボックス画像PBの始点を意味する始点画像PSが始点P1J位置に重畳される。

【0126】

図14(A-2)では、ユーザがマウスMSのスイッチを押したまま、マウスMSを領域の終点P2Cに移動させる。このとき、操作情報生成領域GA内には、始点P1Cおよび終点P2Cを結ぶ線分を対角線とする枠が破線で表示されている。一方、ページ画像ORG内では、図14(B-2)に示すように、始点画像PSが表示されると、ポインタ画像PPJに代えて終点画像PEが表示され、終点画像PEを用いてページ画像ORG内の終点P2Jが指定される。

【0127】

図14(A-3)では、ユーザがマウスMSのスイッチを押すのを中止する。このとき、図14(B-3)に示すように、ページ画像ORG内では、始点P1Jおよび終点P2Jによって設定された範囲にボックス画像PBが重畳される。

【0128】

なお、始点画像PSと、終点画像PEと、ボックス画像PBとのそれぞれの装飾画像を表す装飾画像データは、装飾画像処理部140(図10)によって準備され、画像処理部110に供給される。

【0129】

また、ページ画像ORGに重畳されるボックス画像PBなどの装飾画像の種類は、操作検出用ウィンドウDW(図13)に含まれる「メニュー」ボタンBMを選択することによって予め指定される。すなわち、ユーザがコンピュータPC2の操作検出用ウィンドウDW上でポインタ画像PPCを移動させて「メニュー」ボタンBMを選択すると、メニュー表示開始情報がLANを介してプロジェクタPJ2に供給される。プロジェクタPJ2内のCPU100は、ネットワークインタフェース部190に供給されたメニュー表示開始情報に基づいて、メニュー画像処理部150および画像処理部110を制御し、メニュー画像を原画像ORGとしてスクリーンSC上に投写表示させる。ユーザは、原画像ORG(メニュー画像)内に重畳表示されるポインタ画像PPJを用いて、使用する装飾画像の

種類を選択する。なお、リモコンRMを用いてメニュー画像を表示させて、リモコンRMを用いて使用する装飾画像の種類を選択することも可能である。

【0130】

以上説明したように、本実施例のコンピュータPC2は、素材ファイル供給部336を備えており、素材ファイル供給装置として機能する。素材ファイル供給部336は、表示部350に、素材ファイル供給部336に処理を実行させるための実行用アイコンを表示させ、マウスMSの操作により、素材ファイルのファイルアイコンが実行用アイコンにドラッグ・アンド・ドロップされると、素材ファイルMFをシナリオ記憶領域107に供給する。そして、プロジェクタPJ2は、素材ファイル供給装置PC2から供給され、シナリオ記憶領域107に記憶された素材ファイルを読み出し、シナリオ情報に従って、画像情報によって表されるページ毎の画像を表すページ画像データを準備するページ画像処理部を備えている。

【0131】

なお、第2実施例においては、シナリオ再生装置としてのプロジェクタPJ2と素材ファイル供給装置としてのコンピュータPC2とを備えるシナリオ再生システムが、本発明における第2のプロジェクタに相当する。

【0132】

本発明の第2のプロジェクタを用いれば、シナリオファイルを作成する手間を省略することができる。この結果、プロジェクタは、ページ毎の画像を容易に順次表示させることが可能となる。

【0133】

なお、この発明は上記の実施例や実施形態に限られるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において種々の態様において実施することが可能であり、例えば次のような変形も可能である。

【0134】

(1) 第1実施例では、コンピュータPC1は、RAM330内にシナリオ作成部332Bを備えているのみであるが、コンピュータPC1は、第2実施例のコンピュータPC2に備えられた素材ファイル供給部336のような機能を有す

るシナリオ供給部を備えるようにしてもよい。このようにすれば、ユーザは、コンピュータPC1のシナリオ作成部332Bによって予め準備されたシナリオファイルを、図12に示すように、シナリオファイルのファイルアイコンをシナリオ供給部の実行用アイコンにドラッグ・アンド・ドロップすることによって、プロジェクタ（すなわち投写型表示装置）PJ1に供給することが可能となる。

【0135】

また、第1実施例では、コンピュータPC1は、RAM330内にシナリオ作成部332Bを備えているのみであるが、コンピュータPC1は、第2実施例のコンピュータPC2のように、ユーザによるマウスMSの操作を検出し、検出結果に基づいて操作情報OPSを生成する操作情報生成部338を備えるようにしてもよい。こうすれば、ユーザはマウスMSを操作することにより、プロジェクタ（すなわち投写型表示装置）PJ1を操作することが可能となる。

【0136】

上記の場合には、シナリオ再生装置としてのプロジェクタPJ1と、シナリオ供給部や操作情報生成部を有するシナリオ供給装置としてのコンピュータPC1と、を備えるシナリオ再生システムが、本発明における第1のプロジェクタに相当する。

【0137】

(2) 上記実施例では、コンピュータPC1、PC2は、入力部360として、マウスMSを備えているが、マウスMSに代えて、タブレットや、トラックボール、トラックパッド、ジョイスティックなどの他のポインティングデバイスを備えるようにしてもよい。これらのポインティングデバイスも、マウスMSと同様の機能を有しており、本発明におけるポインティングデバイスに相当する。

【0138】

(3) 上記実施例では、投写型表示装置すなわちプロジェクタは、電気光学装置として液晶ライトバルブを備えているが、これに代えて、マイクロミラー型光変調装置やCRTなどを備えるようにしてもよい。マイクロミラー型光変調装置としては、例えば、DMD（デジタルマイクロミラーデバイス）（TI社の商標）を用いることができる。電気光学装置としては、画像データに応じて画像光を形

成するようなものであればよい。

【0139】

(4) 上記実施例において、ハードウェアによって実現されていた構成の一部をソフトウェアに置き換えるようにしてもよく、逆に、ソフトウェアによって実現されていた構成の一部をハードウェアに置き換えるようにしてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】

第1実施例におけるシナリオ作成・再生システムを示す説明図である。

【図2】

図1のコンピュータPC1の概略構成を示す説明図である。

【図3】

図1のプロジェクタPJ1の概略構成を示す説明図である。

【図4】

図1のシナリオ作成・再生システムにおける一連の処理手順を示すフローチャートである。

【図5】

表示部350に表示されるシナリオ作成用ウィンドウSMWを示す説明図である。

【図6】

プロジェクタPJ1によって表示されるシナリオファイル選択画面SSMを示す説明図である。

【図7】

プロジェクタPJ1に供給されたシナリオファイルの内容の一例を示す説明図である。

【図8】

第2実施例におけるシナリオ再生システムを示す説明図である。

【図9】

図8のコンピュータPC2の概略構成を示す説明図である。

【図10】

図 8 のプロジェクタ P J 2 の概略構成を示す説明図である。

【図 1 1】

図 8 のシナリオ再生システムにおける一連の処理手順を示すフローチャートである。

【図 1 2】

表示部 3 5 0 に表示されるデスクトップ画面を示す説明図である。

【図 1 3】

コンピュータ P C 2 の表示部 3 5 0 に表示される操作検出用ウィンドウ D W を示す説明図である。

【図 1 4】

ページ画像 O R G 内のポインタ画像 P P J を用いて、ページ画像 O R G 内にボックス画像 P B を重畳する際の処理を示す説明図である。

【符号の説明】

1 0 0 … C P U

1 0 0 b … バス

1 0 2 … 外部記憶装置

1 0 4 … 内部記憶装置

1 0 5 B … シナリオ再生部

1 0 5 C … シナリオ再生部

1 0 7 … シナリオ記憶領域

1 0 8 … アナログ画像信号入力部

1 1 0 … 画像処理部

1 2 0 … 液晶ライトバルブ駆動部

1 3 0 … 液晶ライトバルブ

1 4 0 … 装飾画像処理部

1 5 0 … メニュー画像処理部

1 6 0 … リモコン信号処理部

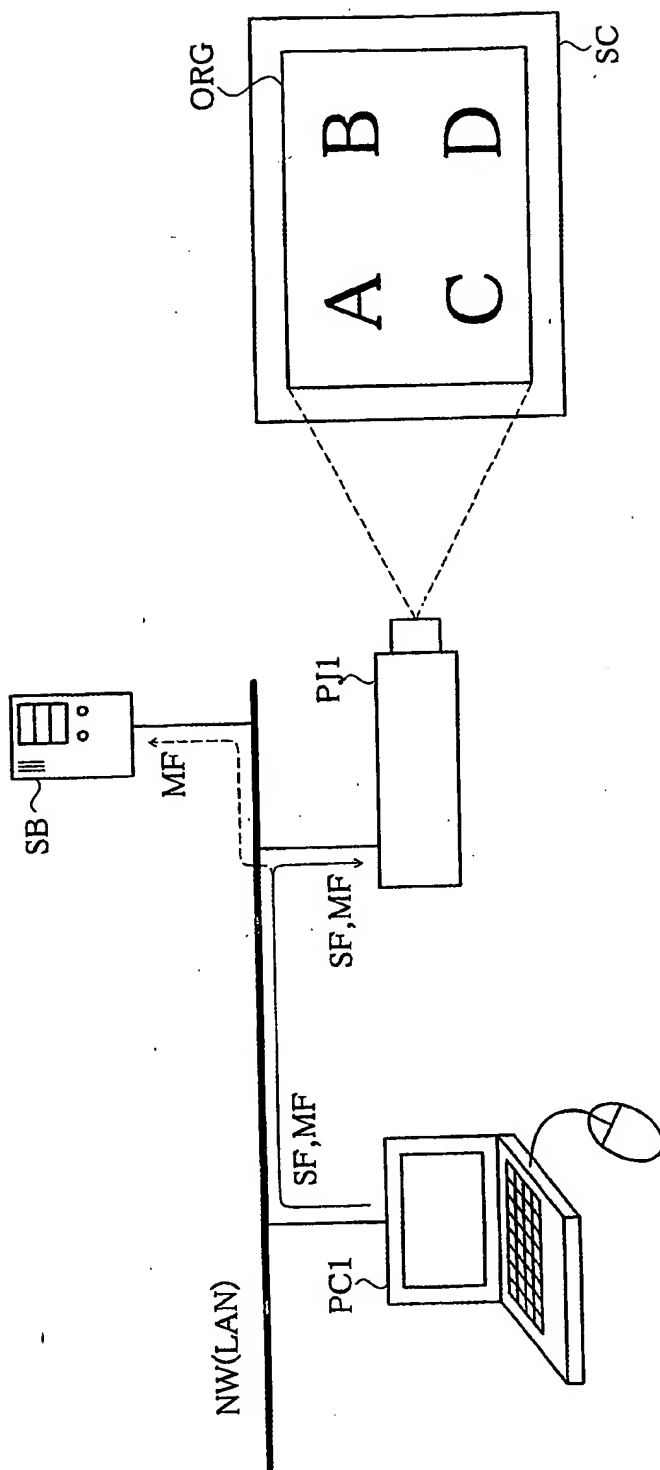
1 7 0 … メモリカード制御部

1 9 0 … ネットワークインタフェース部

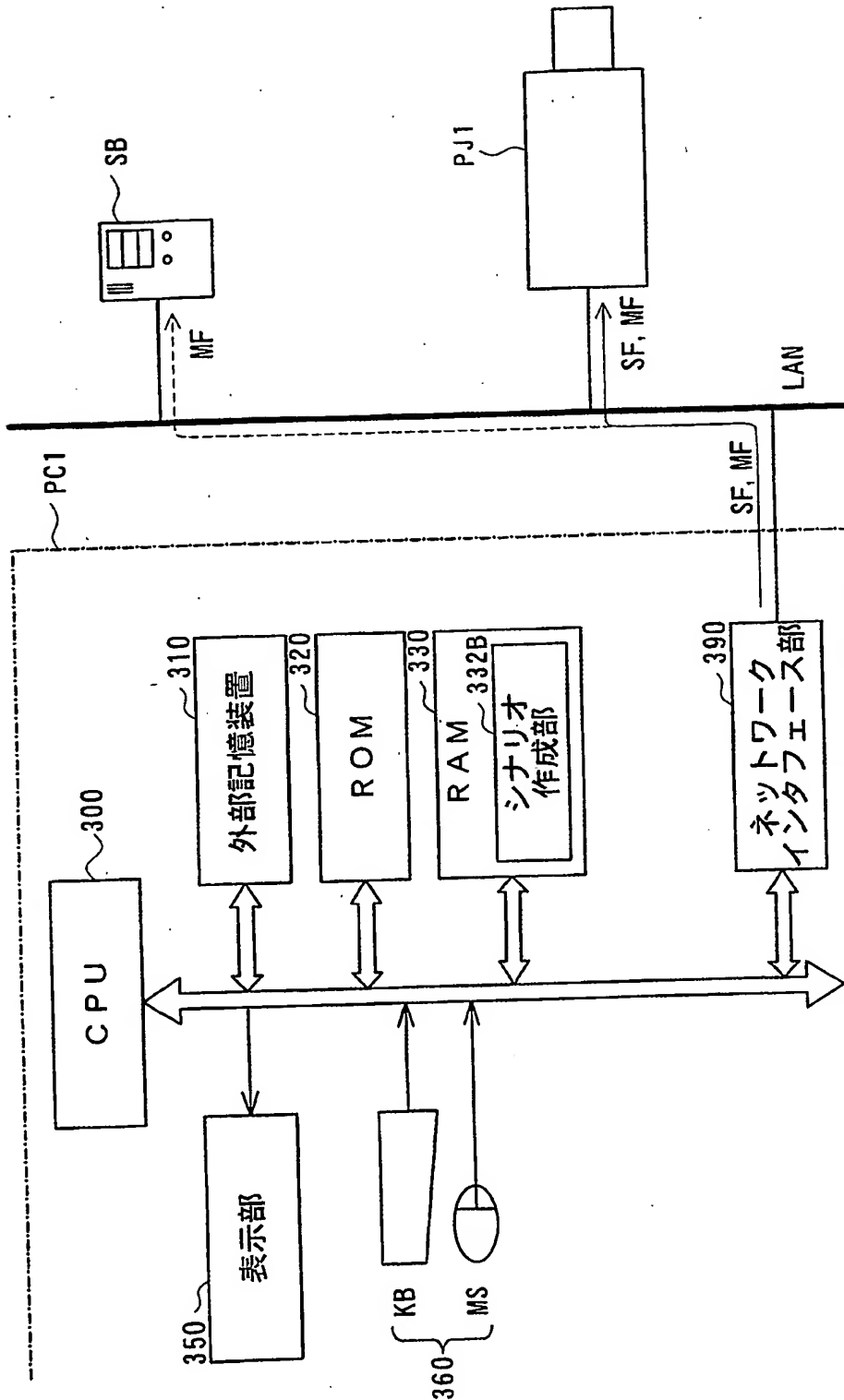
200…照明光学系
220…投写光学系
300…CPU
310…外部記憶装置
320…ROM
330…RAM
332B…シナリオ作成部
336…素材ファイル供給部
338…操作情報生成部
350…表示部
360…入力部
390…ネットワークインタフェース部
KB…キーボード
MC…メモリカード
MS…マウス
NW…ネットワーク
PC1, PC2…コンピュータ
PJ1, PJ2…プロジェクタ
RM…リモコン
SB…ファイルサーバ
SC…スクリーン

【書類名】 図面

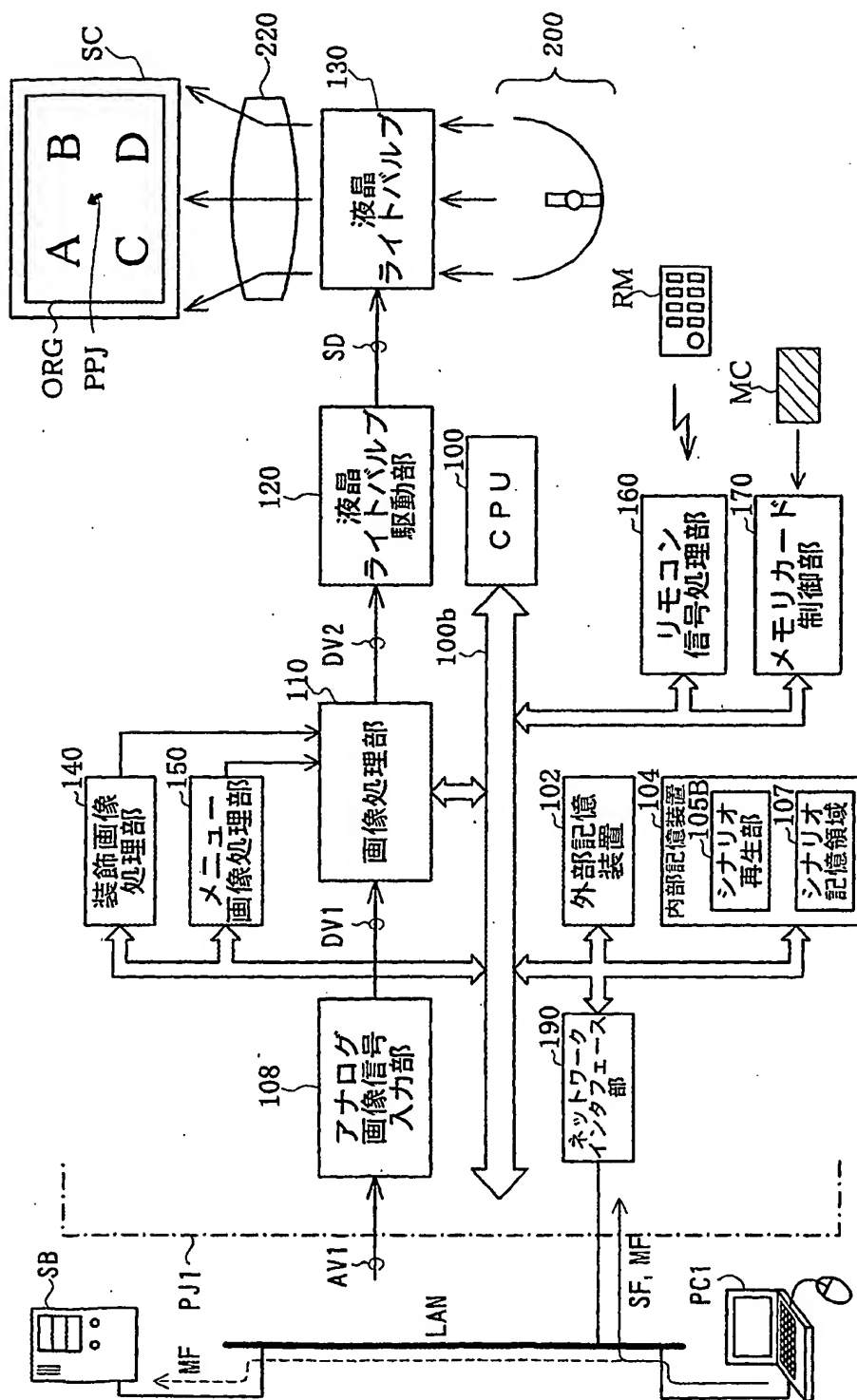
【図1】



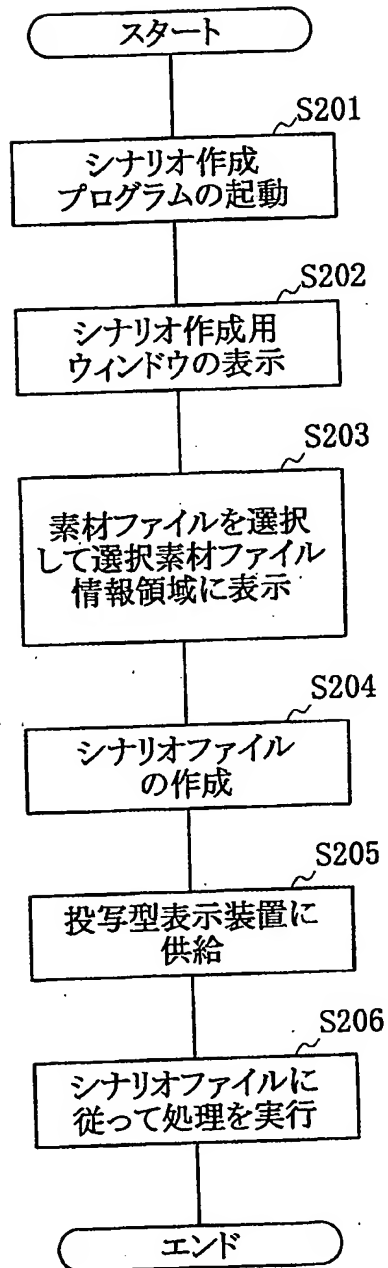
【図2】



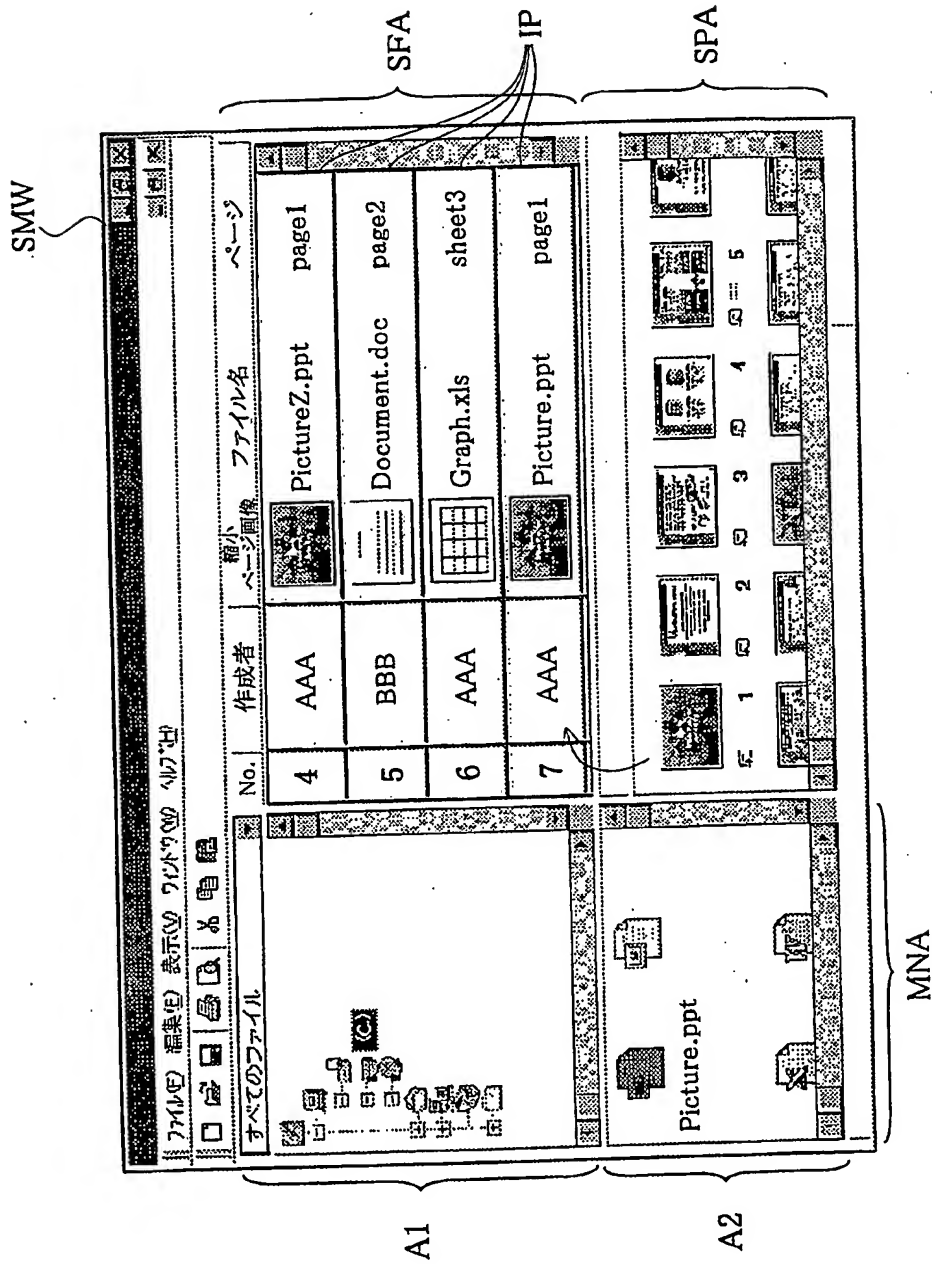
【図3】



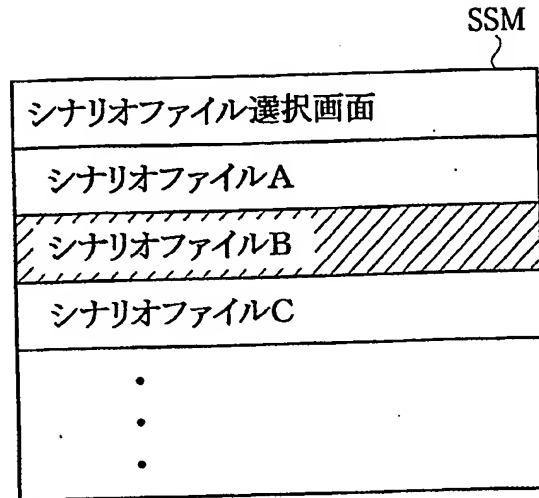
【図4】



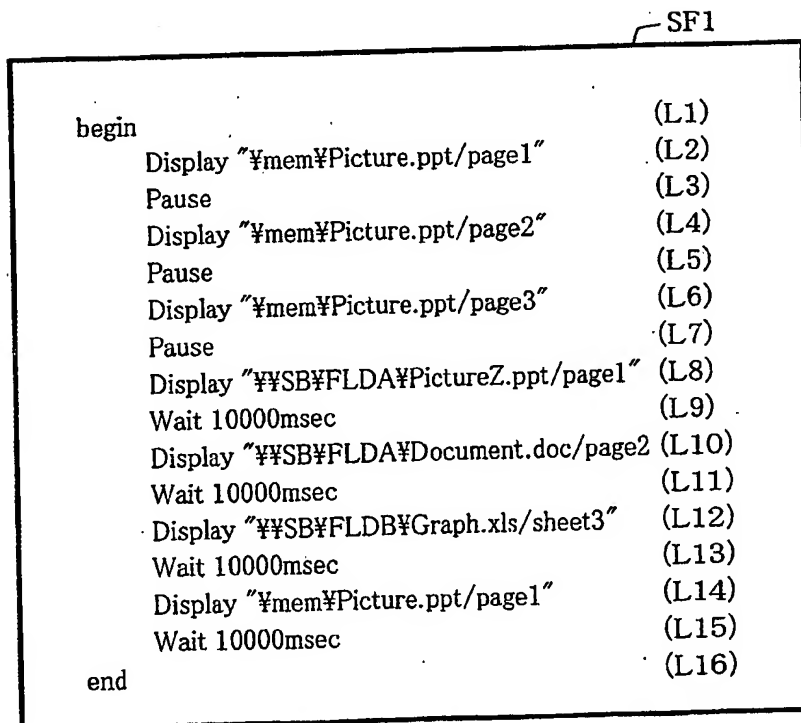
【図5】



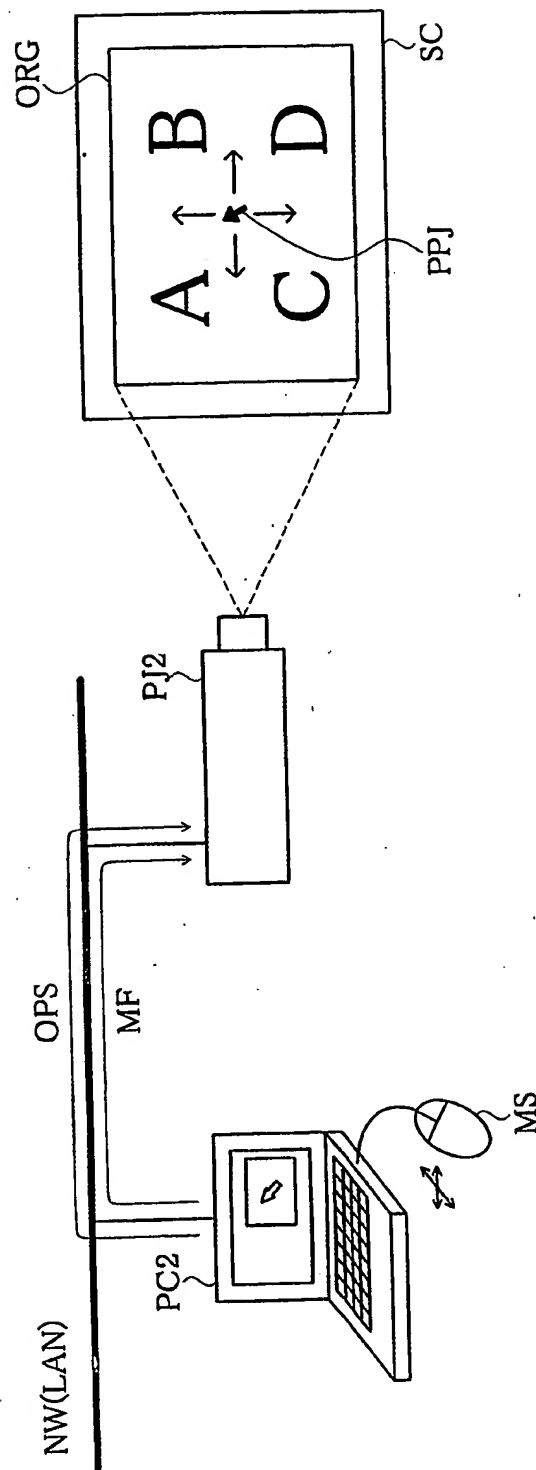
【図 6】



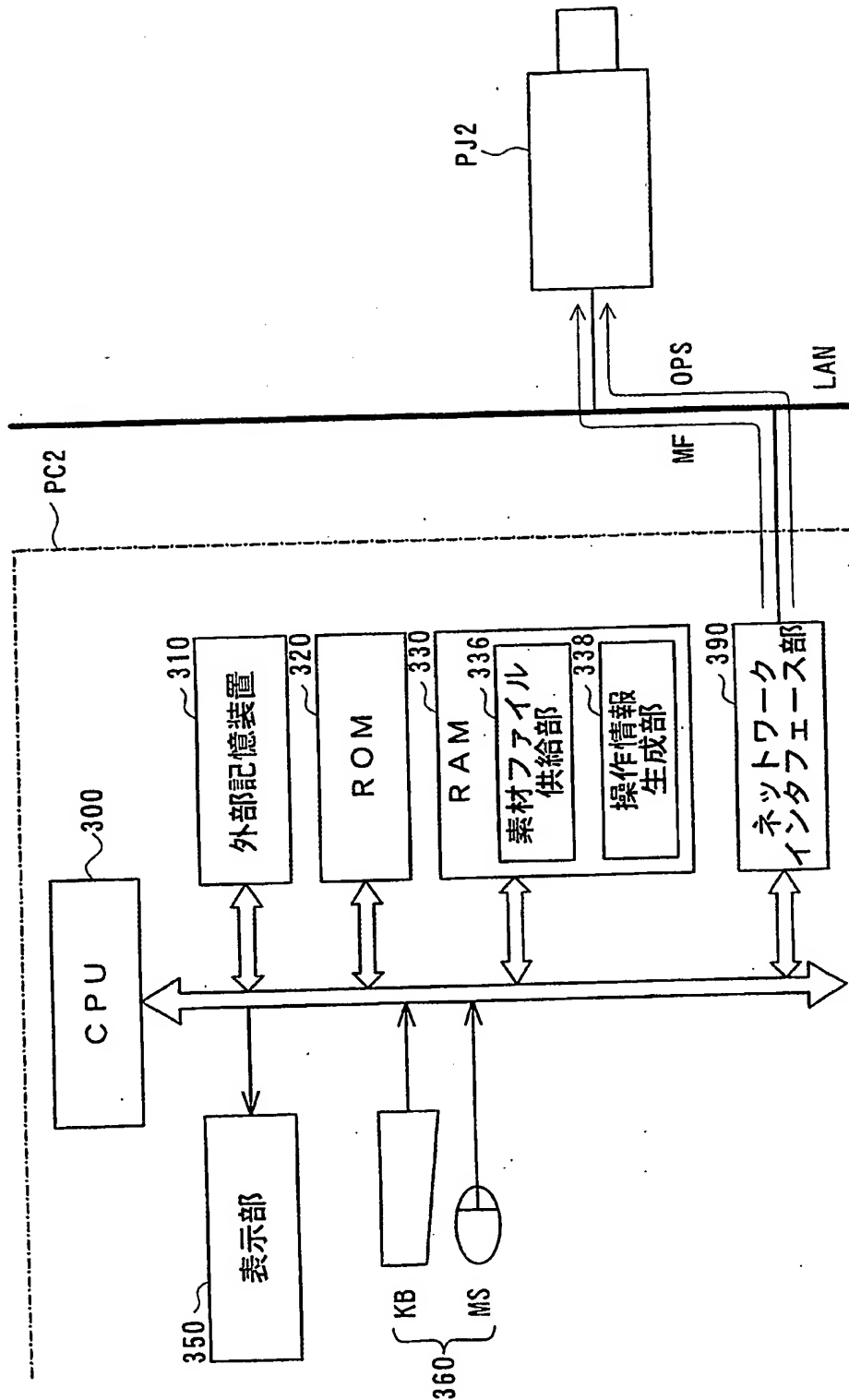
【図 7】



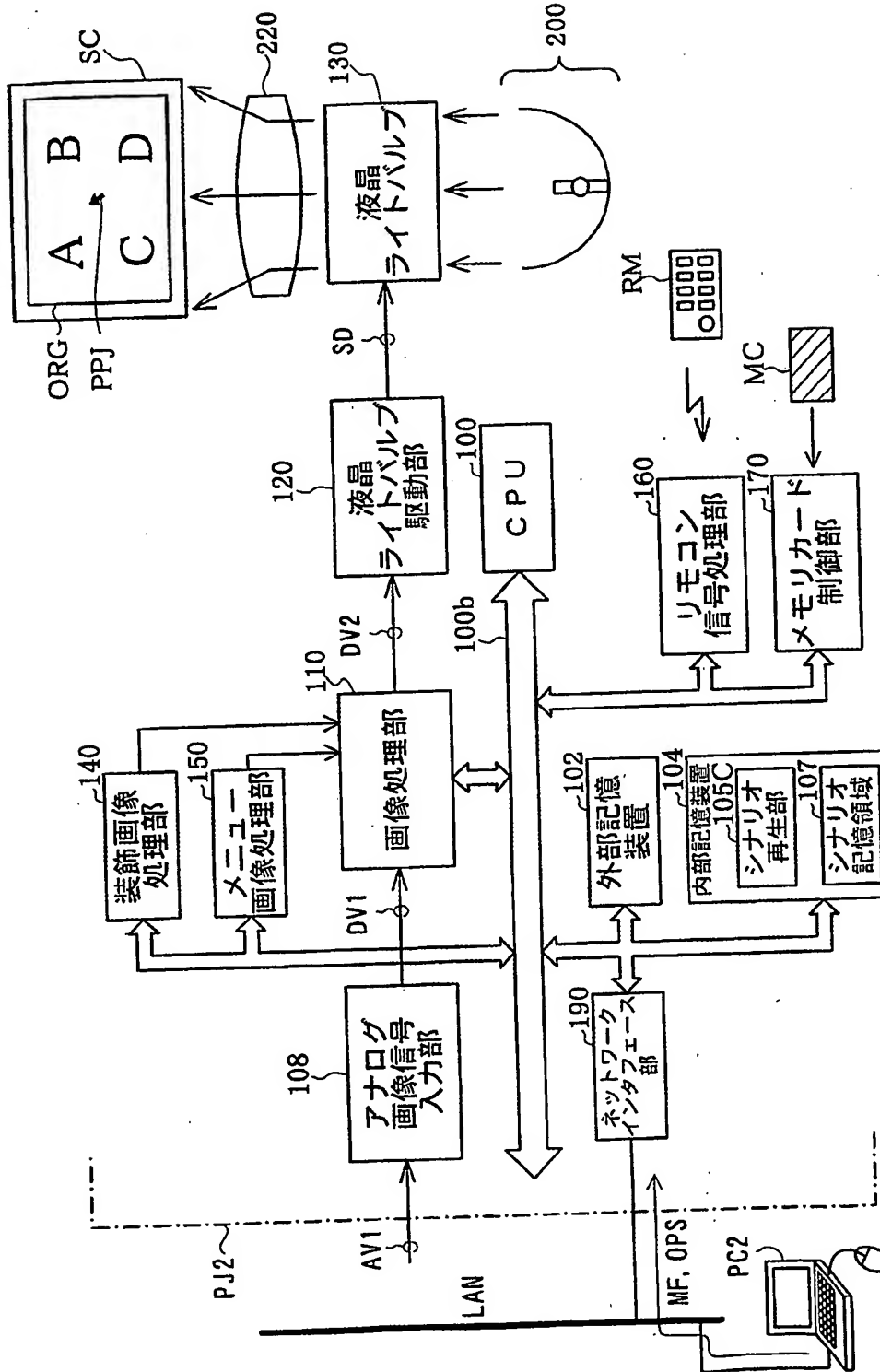
【図8】



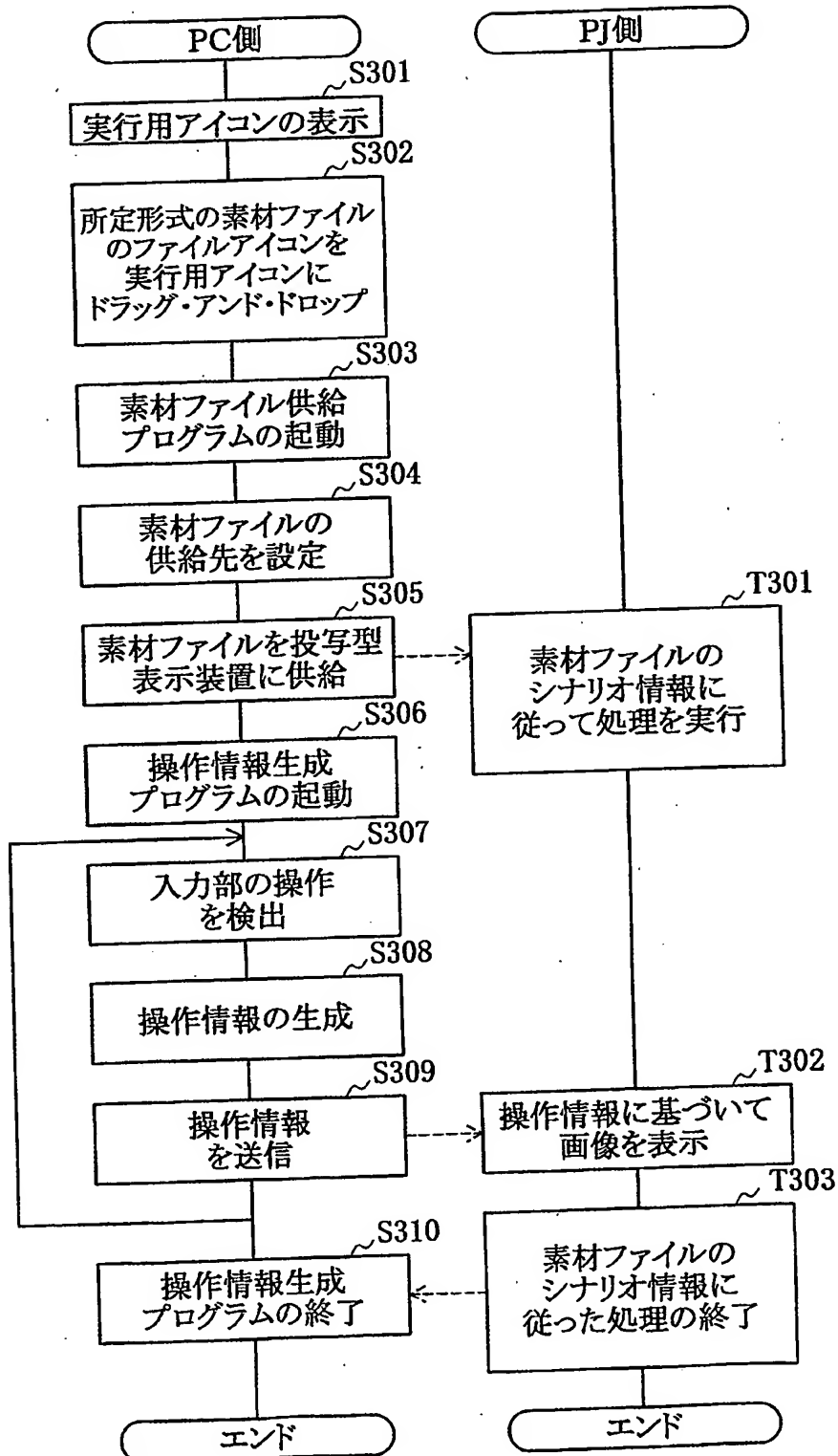
【図9】



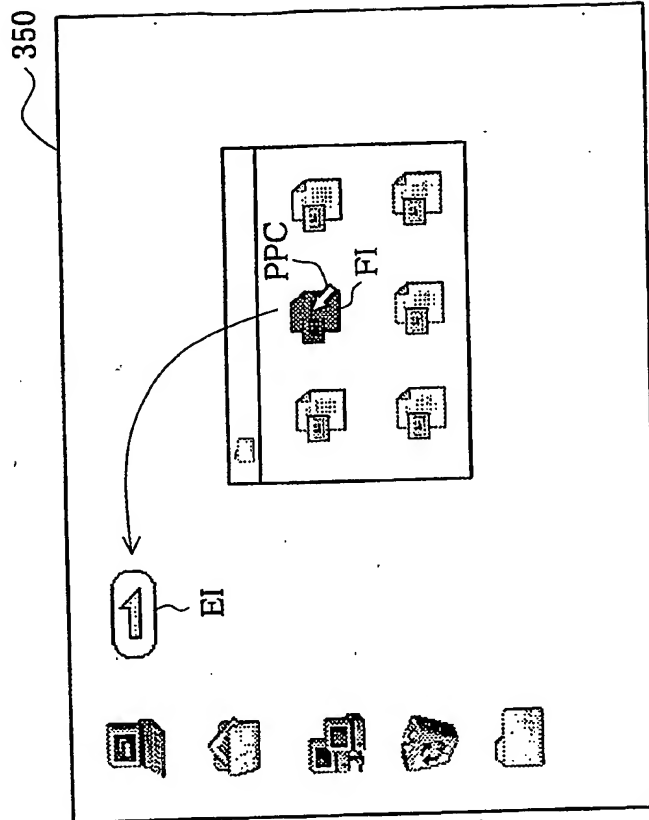
【図10】



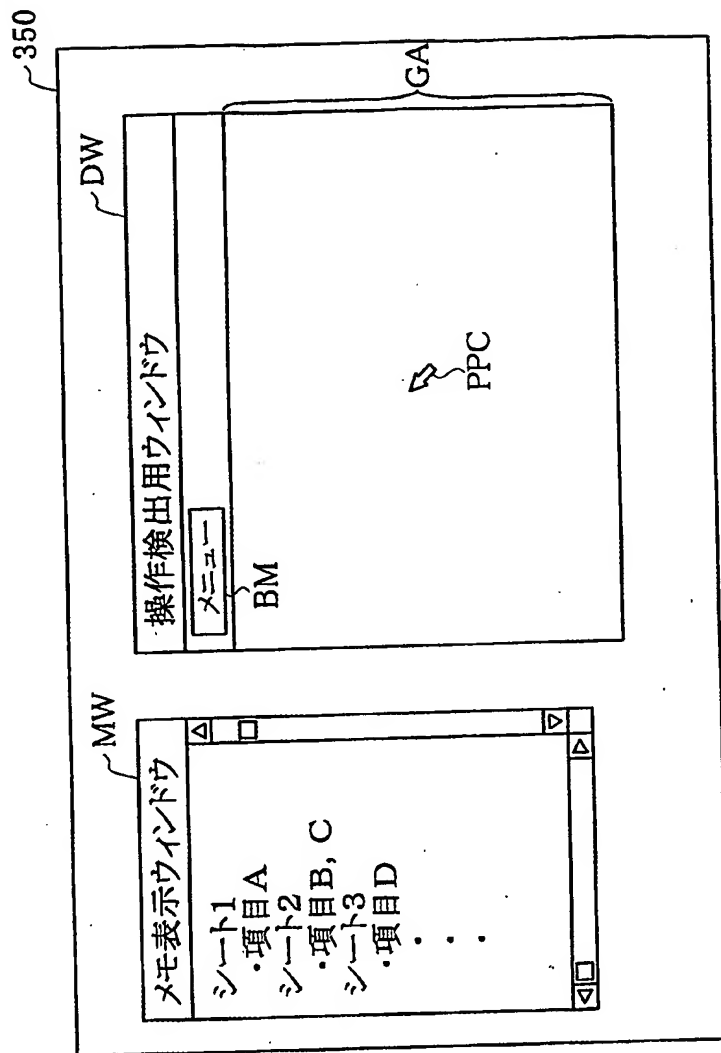
【図11】



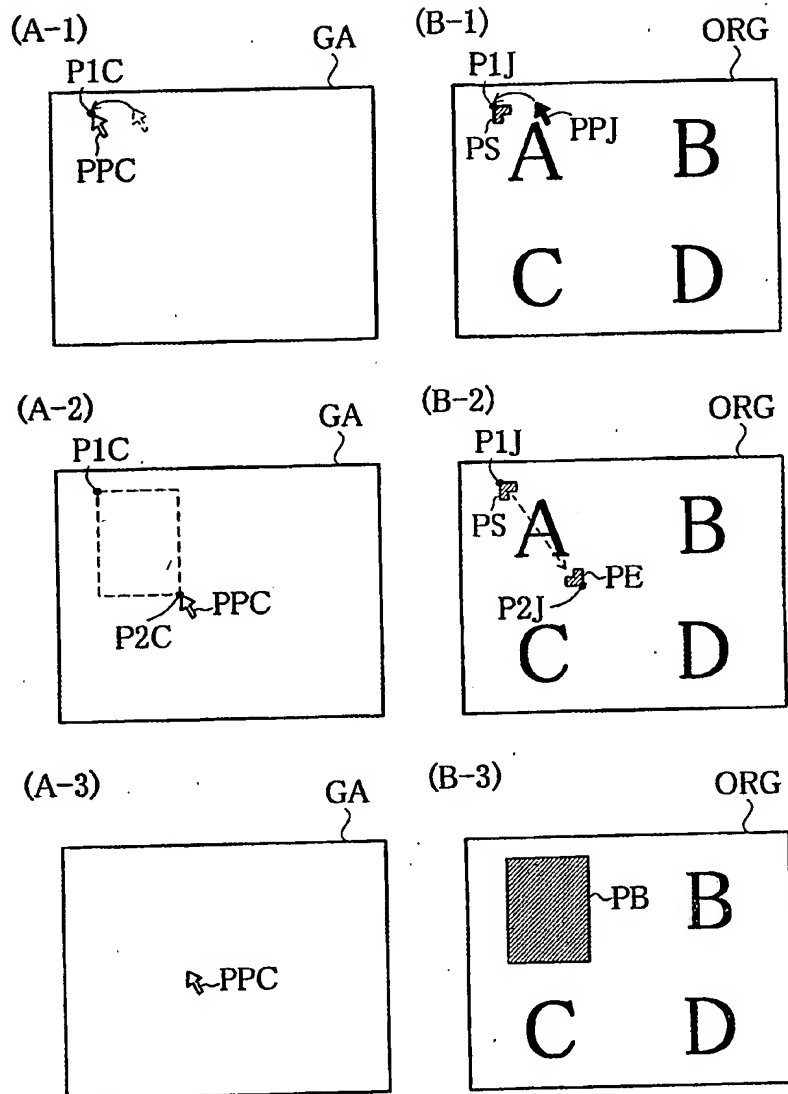
【図12】



【図13】



【図14】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 プロジェクタなどのシナリオ再生装置において、ページ毎の画像を容易に順次表示させることのできる技術を提供する。

【解決手段】 シナリオ作成装置であって、プロジェクタなどのシナリオ再生装置において、ページ毎に画像を順次表示させるためのシナリオファイルを作成する。シナリオ作成装置は、ポインティングデバイスを含む入力部と、表示部と、入力部の操作に従ってシナリオファイルを作成するためのシナリオ作成部と、を備えている。シナリオ作成部は、表示部に、素材ファイルを表示するためのファイル管理領域MNAと、ファイル管理領域においてユーザによって選択された素材ファイルの情報である選択素材ファイル情報をユーザによって指定された順序で表示する選択素材ファイル情報領域SFAと、を含むシナリオファイル作成領域を表示させ、選択素材ファイル情報領域SFA内の表示内容に応じて、シナリオファイルを作成する。

【選択図】 図5

特2000-174150

出願人履歴情報

識別番号 [000002369]

| | |
|----------|------------------|
| 1. 変更年月日 | 1990年 8月20日 |
| [変更理由] | 新規登録 |
| 住所 | 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号 |
| 氏名 | セイコーエプソン株式会社 |